

資料 4－2

別 紙

地域間幹線系統に係る 地域公共交通確保維持事業の詳細

令和 8 年（2026 年）6 月

熊本県地域公共交通協議会

地域間幹線系統に係る地域公共交通確保維持事業の詳細 記載事項

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性	P1
2. 地域公共交通確保維持事業に係る定量的な目標・効果及びその評価手法・測定方法	P3
3. (表1) 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者	P5
4. (表2) 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額	P7
5. (表3) 別表1の補助事業の基準二に基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧	P21
6. (表4) 同一の補助対象系統として取り扱うことを協議会が特に認めた運行系統の範囲について	P22
7. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項	P23
8. 外客来訪促進計画との整合性	P28
9. 車両の取得に係る目的・必要性	P30
10. 車両の取得に係る定量的な目標・効果	P31
11. (表5) 車両の取得計画の概要	P32
12. (表6) 車両の取得を行う事業者、要する費用の総額、負担者及びその負担額	P33
13. 協議会の開催状況と主な議論	P36
14. 協議会メンバーの構成(熊本県地域公共交通協議会)	P37

(添付資料)

・運行予定系統を示した地図

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

熊本県内の地域公共交通は、人口減少等の影響により、利用者数の減少や、それに伴う交通事業者の収支悪化・自治体負担の増加に歯止めがかからない状況が長く続いてきたほか、近年では、運転手不足をはじめとする供給面の課題も顕在化している。

このような状況を受け、熊本県地域公共交通計画では、「持続可能な幹線公共交通ネットワークの構築」を目標の一つとして定め、各地域拠点を複数連絡する路線バスのうち一定の輸送量を有する路線バスについては、国、県による支援を中心に維持・確保を図ることとしている。

今回、認定申請する幹線系統については、地域公共交通確保維持事業を活用し赤字額を補填することで、系統の維持を図り、地域住民の通勤、通学、通院及び買物等に必要な生活交通手段を確保するものである。

系統ごとの目的及び必要性については、次のとおりである。

番号	事業者名	系統名	現状の利用目的	路線維持の必要性
1	1	熊本バス(株) 直行線	山都町方面から、熊本市街地への通勤・通学・通院・買物等の利用	熊本市・嘉島町・御船町から矢部高校への通学、御船町・山都町から御船高校・熊本市内の高校への通学、御船町内から御船中学校への通学、熊本市内や御船町の病院への通院、市内への買物、通勤等の手段として必要である。
2	2	熊本バス(株) 砥用線	美里町・砥用方面から、熊本市街地への通勤・通学・通院・買物等の利用	美里町・甲佐町から甲佐高校までの通学、美里町・甲佐町・御船町・嘉島町住民の熊本市内の病院への通院、買物、通勤、通学等の手段として必要である。
3	3	熊本バス(株) 辺場・甲佐線	甲佐方面から、熊本市街地への通勤・通学・通院・買物等の利用	甲佐町・御船町・嘉島町から熊本市内への通勤、通学、買物、通院の手段として必要である。
4	4	熊本バス(株) 御船・甲佐線	甲佐方面から、熊本市街地への通勤・通学・通院・買物等の利用	御船高校・甲佐高校や熊本市内の高校までの通学、甲佐町・御船町・嘉島町の住民等の熊本市内等への通院、通勤、買物の手段として必要である。
5	5	熊本バス(株) 健軍線	甲佐方面から、熊本市街地への通勤・通学・通院・買物等の利用	熊本市・嘉島町・御船町の住民の御船高校・甲佐高校までの通学、甲佐町・御船町・嘉島町から熊本市内の高校への通学および通勤、通院、買物の手段として必要である。
6	6	熊本バス(株) 健軍・イオン線	熊本市街地から東区役所への利用	沿線住民の買物、通勤、通学の足としてだけでなく、乗継拠点である健軍電停・イオンモール熊本を結ぶ交通手段として必要である。
7	7	熊本バス(株) 宇土線	熊本市街地および城南地区から宇土市への通学利用	熊本市内への通勤・通学のための路線として、また、ＪＲ宇土駅での乗継利用とともに、城南地区の生活路線として、買物のための交通手段としても必要である。
8	8	熊本バス(株) 松橋線	熊本市街地および城南地区から松橋地区への通勤・通学利用	熊本市内への通勤・通学のための路線であり、主に支援学校、松橋高校生の通学として使用されている。また、ＪＲ松橋駅での乗継利用とともに、城南地区の生活路線として、買物のための交通手段としても必要である。
9	9	熊本バス(株) 画図線	城南地区から熊本市街地の学校への通学利用および通勤・通院・買物等の利用	城南町・嘉島町から熊本市内の高校（九州学院等）までの通学、また住民の県庁、市役所までの通勤・通院および買物のための交通手段として必要である。
10	10	熊本バス(株) 乙女線	甲佐方面から、熊本市街地への通勤・通学・通院・買物等の利用	熊本市・嘉島町住民のくまもと南部広域病院までの通院・通勤、甲佐町住民の熊本市内への通院、通勤、買物、甲佐町学童の乙女小学校までの通学、火の君文化センターの利用者の交通の手段として必要である。
11	11	熊本バス(株) 中病・イオン線	熊本市街地への通勤・通学・通院・買物等の利用	沿線住民の熊本市街地への通勤、通学、通院、買物等への交通手段として、また、イオンモール熊本を乗継拠点として、沿線に所在する学校や病院、商業施設への足として必要である。
12	12	熊本バス(株) 江津・イオン線	江津住宅地から熊本市街地間の通勤・通学・買物等の利用	熊本市・江津住宅地からの住民の通勤、通学、買物の手段だけでなく、乗継拠点であるイオンモール熊本への交通手段として必要である。
13	13	熊本バス(株) セイラ・イオン線	セイラ住宅地から熊本市街地間の通勤・通学・買物等の利用	熊本市・セイラ住宅地からの住民の通勤、通学、買物の手段だけでなく、乗継拠点であるイオンモール熊本への交通手段として必要である。
14	14	熊本バス(株) 健軍電停・イオン線	嘉島方面から熊本市街地への乗継拠点（健軍電停）への通勤・通学・買物等の利用	嘉島方面から熊本市街地へ通勤・通学・買物等の利用のため、交通結節点である健軍電停への交通手段として必要である。

番号	事業者名	系統名	現状の利用目的	路線維持の必要性	
15	15	熊本バス(株)	城南・志導寺線	城南地区から熊本市街地への通勤・通学・買物等の利用	城南地区から熊本市中心部への通勤・通学・通院・買物等の生活路線として維持していく必要がある。
16	1	産交バス(株)	健軍・東無田經由熊本・御船線	御船方面から熊本市街地への通勤・通学・通院・買物利用	御船方面から熊本市街地への通勤・通学・通院・買物に利用されている路線であり、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。
17	2	産交バス(株)	河内經由熊本・小天線	河内方面から熊本市街地への通院・通学利用	河内方面から熊本市街地への通院・通学に利用されている路線であり、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。
18	3	産交バス(株)	植木・大倉經由熊本・玉名線	相互間においての通院・通学・買物の利用	相互間においての通院・通学・買物に利用されている路線であり、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。
19	4	産交バス(株)	菊池經由山鹿・大津線	相互間において、通院・通学・買物などの利用	相互間において、通院・通学・買物などに利用されている路線であり、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。
20	5	産交バス(株)	労働庁舎・鬼池港經由本渡・富岡線	富岡方面から天草市街地への通学・通院・買物などの利用	富岡方面から天草市街地への通学・通院・買物などに利用されている路線であり、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。
21	6	産交バス(株)	一町田中央・久玉經由本渡・牛深線	相互間において、通院・通学・買物などの利用及び熊本市内方面との接続	計画輸送量が15人未満であるが、相互間において、通院・通学・買物などの利用及び熊本市内方面との接続に利用されている路線であり、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。
22	7	産交バス(株)	桜山經由玉名市役所・荒尾線	相互間においての通院・通学・買物の利用	相互間においての通院・通学・買物に利用されている路線であり、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。
23	8	産交バス(株)	堅志田經由松橋・砥用線	砥用方面からの通院・通学利用	計画輸送量が15人未満であるが、砥用方面からの通院・通学に利用されている路線であり、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。
24	9	産交バス(株)	日奈久經由八代・田浦線	相互間においての通院・通学・買物の利用	相互間においての通院・通学・買物に利用されている路線であり、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。
25	10	産交バス(株)	道尻經由阿蘇環状線	阿蘇市内においての通院・通学の利用	阿蘇市内においての通院・通学に利用されている路線であり、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。
26	11	産交バス(株)	テクノ団地經由熊本・高森線	高森・南阿蘇方面から熊本市内方面への通学・通勤利用	高森・南阿蘇方面からの通学・通勤に利用されている路線であり、住民の生活交通手段の存続をさせていくことが必要である。
27	1	熊本電気鉄道(株)	377新地団地線（合志市役所）	合志市から菊陽町を通り熊本市への通勤・通学・買物などの利用	合志市、菊陽町、熊本市の沿線住民の通勤・通学の足として、また尚綱大学武蔵ヶ丘キャンパスに通う学生に利用されており存続させていくことが必要である。
28	1	西鉄バス大牟田(株)	西鉄大牟田営業所～大牟田市立病院・上町～庄山	荒尾市・庄山地区及び大牟田市南東部住民の通勤、通学、買物等の利用	計画輸送量が15人未満であるが、櫛野地区等の大牟田市南東部地域唯一の公共交通であり、また荒尾市・庄山地区から大牟田市へ向かう唯一の公共交通であるため、生活交通手段として存続させることが必要である。
29	2	西鉄バス大牟田(株)	西鉄大牟田営業所～延命公園動物園前・大牟田市立病院・新大牟田駅～南関町役場	荒尾市及び大牟田市住民の通勤、通学、買物等の利用	当該路線については、大牟田市と熊本県荒尾市の2市を跨いで運行し、JR大牟田駅、西鉄大牟田駅、JR荒尾駅と接続しており、沿線住民の日常生活に必要な不可欠な交通手段となっているため、幹線として維持することが妥当である。
30	3	西鉄バス大牟田(株)	荒尾駅～右京町～大牟田駅～久福木団地	荒尾市及び大牟田市住民の通勤、通学、買物等の利用	当該路線については、大牟田市と熊本県荒尾市の2市を跨いで運行し、JR大牟田駅、西鉄大牟田駅、JR荒尾駅と接続しており、沿線住民の日常生活に必要な不可欠な交通手段となっているため、幹線として維持することが妥当である。
31	4	西鉄バス大牟田(株)	荒尾駅～天領橋～大牟田駅～高泉団地～三池中町	荒尾市及び大牟田市住民の通勤、通学、買物等の利用	当該路線については、大牟田市と熊本県荒尾市の2市を跨いで運行し、JR大牟田駅、西鉄大牟田駅、JR荒尾駅と接続しており、沿線住民の日常生活に必要な不可欠な交通手段となっているため、幹線として維持することが妥当である。
32	1	南国交通(株)	水俣線（佐潟口・水俣車庫線）	阿久根市、出水市、水俣市間の広域交通手段	左記市間の広域交通手段、特に阿久根市、出水市の商業施設への買い物、水俣市立医療センターへの通院、出水市内立地の5高校への通学手段として必要である。

2. 地域公共交通確保維持事業に係る定量的な目標・効果及びその評価手法・測定方法

本計画における定量的な目標は、ダイヤの見直し等により利便性の向上を図り、当該年度1日当たりの輸送量を確保すること、及び効率的な運行を実施することで、行政負担額の縮減と事業者の収益性の向上を図ることとする。系統ごとの目標は以下のとおりである。

事業の効果として、地域間幹線バス系統を維持することにより、広域行政圏の周辺部から中心部への移動手段を持たない人のための生活交通手段を確保することが期待できる。

その評価手法及び測定方法は、事業者からの提供データを基に、各年度において現状値に対する増減の状況を評価する。

番号	事業者名	系統名	1日当たりの輸送量（人）		行政負担額（千円） （国、県、市町村による補助額の合計）		収支率（％） （生産性向上の取組の数値目標）		
			R7年度実績	R9年度目標値	R7年度実績	R9年度目標	R7年度実績	R9年度目標	収支改善率
1	1 熊本バス㈱	直行線	27.0 人	22.8 人	37,415	21,741	45.21%	46.23%	1.02%
2	2 熊本バス㈱	砥用線	23.9 人	20.5 人	13,540	12,524	66.10%	67.29%	1.19%
3	3 熊本バス㈱	辺場・甲佐線	33.0 人	34.4 人	11,732	12,900	72.69%	73.70%	1.01%
4	4 熊本バス㈱	御船・甲佐線	43.8 人	40.8 人	18,178	16,743	68.97%	69.98%	1.01%
5	5 熊本バス㈱	健軍線	55.2 人	48.6 人	24,404	20,519	68.60%	69.61%	1.01%
6	6 熊本バス㈱	健軍・イオン線	22.5 人	15.7 人	7,947	4,795	62.37%	63.37%	1.00%
7	7 熊本バス㈱	宇土線	20.8 人	19.8 人	2,735	1,270	76.57%	77.64%	1.07%
8	8 熊本バス㈱	松橋線	21.2 人	17.6 人	3,664	1,792	74.45%	75.53%	1.08%
9	9 熊本バス㈱	画図線	25.2 人	20.6 人	24,631	1,473	88.85%	90.17%	1.32%
10	10 熊本バス㈱	乙女線	22.5 人	19.3 人	14,154	9,431	52.89%	53.90%	1.01%
11	11 熊本バス㈱	中病・イオン線	48.1 人	34.1 人	6,906	3,400	84.64%	85.93%	1.29%
12	12 熊本バス㈱	江津・イオン線	56.4 人	48.4 人	5,404	1,267	98.82%	100.22%	1.40%
13	13 熊本バス㈱	セイラ・イオン線	57.1 人	46.9 人	7,594	2,465	88.85%	90.14%	1.29%
14	14 熊本バス㈱	健軍電停・イオン線	14.7 人	9.1 人	6,734	1,294	44.07%	45.08%	1.01%
15	15 熊本バス㈱	城南・志導寺線	22.7 人	18.7 人	1,671	365	95.54%	96.94%	1.40%
16	1 産交バス㈱	健軍・東無田經由熊本・御船線	20.1 人	20.1 人	17,290	17,290	41.03%	42.03%	1.00%
17	2 産交バス㈱	河内經由熊本・小天線	49.4 人	49.4 人	27,659	27,659	51.03%	52.03%	1.00%

番号		事業者名	系統名	1日当たりの輸送量（人）		行政負担額（千円） （国、県、市町村による補助額の合計）		収支率（％） （生産性向上の取組の数値目標）		
				R7年度実績	R9年度目標値	R7年度実績	R9年度目標	R7年度実績	R9年度目標	収支改善率
18	3	産交バス(株)	植木・大倉經由 熊本・玉名線	20.1 人	20.1 人	19,629	19,629	42.28%	43.28%	1.00%
19	4	産交バス(株)	菊池經由 山鹿・大津線	25.2 人	25.2 人	52,843	52,843	28.99%	29.99%	1.00%
20	5	産交バス(株)	労働庁舎・鬼池港經由 本渡・富岡線	21.3 人	21.3 人	56,138	56,138	25.53%	26.53%	1.00%
20	6	産交バス(株)	一町田中央・久玉經由 本渡・牛深線	15.0 人	15.0 人	124,428	124,428	14.48%	15.48%	1.00%
22	7	産交バス(株)	桜山經由 玉名市役所・荒尾線	28.5 人	28.5 人	40,832	40,832	31.29%	32.29%	1.00%
23	8	産交バス(株)	堅志田經由 松橋・砥用線	15.0 人	15.0 人	49,058	49,058	18.38%	19.38%	1.00%
24	9	産交バス(株)	日奈久經由 八代・田浦線	20.5 人	20.5 人	42,124	42,124	18.31%	19.31%	1.00%
25	10	産交バス(株)	道尻經由 阿蘇環状線	30.4 人	30.4 人	36,875	36,875	18.52%	19.52%	1.00%
26	11	産交バス(株)	テクノ団地經由 熊本・高森線	21.7 人	21.7 人	17,570	17,570	57.00%	58.00%	1.00%
27	1	熊本電気鉄道(株)	377新地団地線 （合志市役所）	26.0 人	26.0 人	1,264	1,100	71.05%	74.30%	3.25%
27	1	西鉄バス大牟田(株)	西鉄大牟田営業所～大牟田市立病院・上町～庄山	10.6 人	15.0 人	10,975	6,637	26.07%	28.07%	2.00%
29	2	西鉄バス大牟田(株)	西鉄大牟田営業所～延命公園動物園前・大牟田市立病院・新大牟田駅～南関町役場	36.9 人	36.9 人	37,347	36,120	39.11%	41.11%	2.00%
30	3	西鉄バス大牟田(株)	荒尾駅～右京町～大牟田駅～久福木団地	38.3 人	38.3 人	8,891	8,327	68.46%	70.46%	2.00%
31	4	西鉄バス大牟田(株)	荒尾駅～天領橋～大牟田駅～高泉団地～三池中町	37.0 人	37.4 人	7,331	6,798	72.50%	74.50%	2.00%
32	1	南国交通(株)	水俣線 （佐潟口・水俣車庫線）	35.7 人	35.7 人	36,387	43,807	42.25%	43.25%	1.00%

3. (表1)地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者(地域間幹線系統)

令和9年度

都道府県 (市区町村)	運行予定者名	運行系統名 (申請番号)	確保維持事業に 要する国庫補助 額(千円)	特 例 措 置
熊本県	熊本バス(株)	(1) 直行線	10,870.5	
	熊本バス(株)	(2) 砥用線	6,262.0	
	熊本バス(株)	(3) 辺場・甲佐線	6,450.0	
	熊本バス(株)	(4) 御船・甲佐線	8,371.5	
	熊本バス(株)	(5) 健軍線	10,259.5	
	熊本バス(株)	(6) 健軍・イオン線	2,397.5	
	熊本バス(株)	(7) 宇土線	635.0	
	熊本バス(株)	(8) 松橋線	896.0	
	熊本バス(株)	(9) 画図線	736.5	
	熊本バス(株)	(10) 乙女線	4,715.5	
	熊本バス(株)	(11) 中病・イオン線	1,700.0	
	熊本バス(株)	(12) 江津・イオン線	633.5	
	熊本バス(株)	(13) セイラ・イオン線	1,232.5	
	熊本バス(株)	(14) 健軍電停・イオン線	647.0	
	熊本バス(株)	(15) 城南・志導寺線	182.5	
	熊本バス(株)	計(15系統)	55,989	
	産交バス(株)	(1) 健軍・東無田経由 熊本・御船線	4,628.5	
	産交バス(株)	(2) 河内経由 熊本・小天線	11,928.0	
	産交バス(株)	(3) 植木・大倉経由 熊本・玉名線	6,557.5	
	産交バス(株)	(4) 菊池経由 山鹿・大津線	10,026.0	

都道府県 (市区町村)	運行予定者名	運行系統名 (申請番号)	確保維持事業に 要する国庫補助 額(千円)	特 例 措 置
	産交バス(株)	(5) 労働庁舎・鬼池港經由 本渡・富岡線	7,658.5	
	産交バス(株)	(6) 一町田中央・久玉經由 本渡・牛深線	6,341.5	
	産交バス(株)	(7) 桜山經由 玉名市役所・荒尾線	5,621.0	
	産交バス(株)	(8) 堅志田經由 松橋・砥用線	2,634.5	
	産交バス(株)	(9) 日奈久經由 八代・田浦線	6,116.0	
	産交バス(株)	(10) 道尻經由 阿蘇環状線	3,902.0	
	産交バス(株)	(11) テクノ団地經由 熊本・高森線	8,384.0	
	産交バス(株)	計(11系統)	73,797	
	熊本電気鉄道(株)	(1) 377新地団地線 (合志市役所)	857.5	
	熊本電気鉄道(株)	計(1系統)	857	
	西鉄バス大牟田(株)	(1) 西鉄大牟田営業所～大牟田 市立病院・上町～庄山	0.0	
	西鉄バス大牟田(株)	西鉄大牟田営業所～延命公 (2) 園動物園前・大牟田市立病 院・新大牟田駅～南関町役場	1,403.0	
	西鉄バス大牟田(株)	(3) 荒尾駅～右京町～ 大牟田駅～久福木団地	409.0	
	西鉄バス大牟田(株)	(4) 荒尾駅～天領橋～大牟田駅 ～高泉団地～三池中町	353.5	
	西鉄バス大牟田(株)	計(4系統)	2,165	
	南国交通(株)	(1) 水俣線 (佐潟口・水俣車庫線)	3,435.5	
	南国交通(株)	計(1系統)	3,435	
	合計(32系統)		136,243	

4. (表2) 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額(地域間幹線系統用)

事業者名	熊本バス株式会社
------	----------

R9

1. 申請事業者の概要

補助対象期間の 前々年度(基準期間 [※])の 損益状況	乗合バス事業						R7
	営業収益	631,186千円	営業外収益	23,057千円	経常収益(イ)	654,243千円	
	営業費用	804,104千円	営業外費用	10,197千円	経常費用(ロ)	814,301千円	
	営業損益	△ 172,918千円	営業外損益	12,860千円	経常損益	△ 160,058千円	
補助対象期間の 前々年度の 実車走行キロ(ハ)	2,145,804.4 km				経常収支率	80.34 %	

基準期間の前年度の 損益状況	乗合バス事業						R6
	営業収益	628,971千円	営業外収益	26,344千円	経常収益(イ')	655,315千円	
	営業費用	810,555千円	営業外費用	8,745千円	経常費用(ロ')	819,300千円	
	営業損益	△ 181,584千円	営業外損益	17,599千円	経常損益	△ 163,985千円	
基準期間の前年度の 実車走行キロ(ハ')	2,430,016.4 km				経常収支率	79.98 %	

基準期間の前々年度の 損益状況	乗合バス事業						R5
	営業収益	542,093千円	営業外収益	21,910千円	経常収益(イ'')	564,003千円	
	営業費用	811,480千円	営業外費用	8,523千円	経常費用(ロ'')	820,003千円	
	営業損益	△ 269,387千円	営業外損益	13,387千円	経常損益	△ 256,000千円	
基準期間の前々年度の 実車走行キロ(ハ'')	2,569,490.8 km				経常収支率	68.78 %	

(補助対象事業者の「基準期間[※]を最終年度とする連続した過去3年間」における実車走行キロ当たり経常費用等)

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 (基準期間の前々年度) ロ''÷ハ''=a	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 (基準期間の前年度) ロ'÷ハ'=b	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 (基準期間) ロ÷ハ=c
南九州	319円.13銭	337円.15銭	379円.48銭

※「基準期間」とは、補助対象期間の前々年度の補助対象期間をいう。

2. キロ当たり補助対象経常費用及び経常収益

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キ ロ当たり経常費用 (a+b+c)/3=ニ	地域キロ当たり 標準経常費用 ホ	キロ当たり経常費用 ニとホのいずれか少ない額 ヘ	キロ当たり経常費用の差 ニ-ヘ = ケ	キロ当たり経常収益 イ÷ハ=ト
南九州	345円.25銭	370円.19銭	345円.25銭		304円.89銭

3. 旅客運賃の上限変更認可状況

補助ブロック名	認可日	認可を受けた補助対象期間	補助金交付要 綱別表2(注) 4.の適用割合 フ	改定率 コ
南九州	令和7年9月18日	基準期間の 当 年度	1	9.09%
南九州		基準期間の 前 年度	2/3	
南九州	令和5年9月15日	基準期間の 前々 年度	1/3	16.77%

4. 補助対象系統ごとに要する費用、負担者とその負担割合

熊本バス株式会社

R9

補助 ブ ロ ッ ク 名	申 請 番 号	特 例 措 置	運行 系統名	運行系 統			計画運 行日数	計画運行回数 ()	計画平 均乗車 密度	計画輸 送量	系統キロ程		地域公共交通再編事業を 実施する区域におけるキ ロ程		系統キロ程と地 域公共交通再編 事業を実施する 区域におけるキ ロ程との比率	補助ブロック外 乗入部分のキロ程		同一補助ブロック都道府県 外乗入部分のキロ程		他路線との競合 部分に係るキロ程		他路線との競合 率	補助ブロック外乗 入部分、同一補 助ブロック都道府 県外乗入部分及 び他路線との競 合部分以外のキ ロ程の比率 (「チー(リ＋ヌ＋ ル)」÷チ＝ヲ)
				起点	主な 経由地	終点					チ	オ	オ÷チ＝ク	リ		ヌ	ル	ル÷チ					
南 九 州	1		直行線	桜町 バスターミナル	御船	通瀬山荘	365日	2,108.0回 (5.7回)	4.0	22.8人	往47.3km 復47.3km	(平均) 47.3km		(平均)		(平均)		(平均)		(平均)		%	% 100.000
	2		砥用線	桜町 バスターミナル	辺場	砥用 学校前	360日	1,395.5回 (3.8回)	5.4	20.5人	往33.8km 復33.8km	(平均) 33.8km		(平均)		(平均)		(平均)		(平均)		%	% 100.000
	3		辺場・甲佐線	桜町 バスターミナル	辺場	甲佐	365日	2,406.0回 (6.5回)	5.3	34.4人	往22.9km 復22.9km	(平均) 22.9km		(平均)		(平均)		(平均)		(平均)		%	% 100.000
	4		御船・甲佐線	桜町 バスターミナル	御船	甲佐	365日	2,824.0回 (7.7回)	5.3	40.8人	往25.1km 復25.1km	(平均) 25.1km		(平均)		(平均)		(平均)		(平均)		%	% 100.000
	5		健軍線	桜町 バスターミナル	健軍	甲佐	365日	3,312.0回 (9.0回)	5.4	48.6人	往26.7km 復26.7km	(平均) 26.7km		(平均)		(平均)		(平均)		(平均)		%	% 100.000
	6		健軍・イオン線	桜町 バスターミナル	東区役所	イオン	360日	1,260.0回 (3.5回)	4.5	15.7人	往18.0km 復18.0km	(平均) 18.0km		(平均)		(平均)		(平均)		(平均)		%	% 100.000
	7		宇土線	桜町 バスターミナル	城南	宇土駅	294日	1,070.0回 (3.6回)	5.5	19.8人	往22.0km 復22.0km	(平均) 22.0km		(平均)		(平均)		(平均)	往15.0km 復15.0km	(平均) 15.0km	(平均) 68.181	% 31.818	
	8		松橋線	桜町 バスターミナル	城南	松橋駅	294日	949.5回 (3.2回)	5.5	17.6人	往25.1km 復25.1km	(平均) 25.1km		(平均)		(平均)		(平均)	往15.0km 復15.0km	(平均) 15.0km	(平均) 59.760	% 40.239	
	9		画図線	桜町 バスターミナル	画図	城南	241日	843.5回 (3.5回)	5.9	20.6人	往18.4km 復18.4km	(平均) 18.4km		(平均)		(平均)		(平均)		(平均)		%	% 100.000
	10		乙女線	桜町 バスターミナル	乙女	甲佐	360日	1,649.5回 (4.5回)	4.3	19.3人	往27.9km 復27.9km	(平均) 27.9km		(平均)		(平均)		(平均)		(平均)		%	% 100.000
	11		中病・イオン線	桜町 バスターミナル	中央病院	イオン	360日	2,445.5回 (6.7回)	5.1	34.1人	往12.2km 復12.2km	(平均) 12.2km		(平均)		(平均)		(平均)		(平均)		%	% 100.000
	12		江津・イオン線	桜町 バスターミナル	江津	イオン	365日	3,230.5回 (8.8回)	5.5	48.4人	往13.9km 復13.9km	(平均) 13.9km		(平均)		(平均)		(平均)		(平均)		%	% 100.000
	13		セイラ・イオン線	桜町 バスターミナル	セイラ タウン	イオン	365日	3,364.0回 (9.2回)	5.1	46.9人	往12.8km 復12.8km	(平均) 12.8km		(平均)		(平均)		(平均)		(平均)		%	% 100.000
	14		健軍電停・イオン 線	健軍電停前	東区役所	イオン	365日	1,276.5回 (3.4回)	2.7	9.1人	往11.1km 復11.1km	(平均) 11.1km		(平均)		(平均)		(平均)		(平均)		%	% 100.000
	15		城南・志導寺線	桜町 バスターミナル	城南	志導寺	360日	1,014.0回 (2.8回)	6.7	18.7人	往20.0km 復20.0km	(平均) 20.0km		(平均)		(平均)		(平均)	往15.0km 復15.0km	(平均) 15.0km	(平均) 75.000	% 25.000	
合計			15系統								往337.2km 復337.2km	(平均) 復20.0km		(平均)		(平均) 90.0km		(平均) 202.9km	往45.0km 復45.0km	(平均)			

補助 ブロッ ク名	申 請 番 号	特 例 措 置	補助ブロック外乗 入部分及び同一 補助ブロック都道 府県外乗入部分 以外のキロ程の 比率	計画実車走行 キロ	補助対象 経常費用 の見込額	補助対象系統のキロ当たり経常収益													補助対象系統の 経常収益の見込 額	補助対象経常 費用から経常 収益を控除した 額	補助対象経費 の限度額	タ又はレのうちい ずれか少ないほう の額																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
						補助金交付要綱別表2(注)4 の適用がある場合																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
						3カ年平均			基準期間の前々年度			基準期間の前年度			基準期間																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
						基 準 期 間 に お け る 実 車 走 行 キ ロ 当 た り 経 常 収 益 の 運 賃 改 定 に よ る 増 収 分 f×コ÷(1+コ)× フ＝g	基 準 期 間 に お け る 実 車 走 行 キ ロ 当 た り 経 常 収 益 の 運 賃 改 定 に よ る 増 収 分 f×コ÷(1+コ)× フ＝g	経 常 収 益 控 除 額 gとhのいずれか 少ない額 h	補助金交付要綱別表2(注)4. の 適用後のキロ当 たり経常収益 ノ－h＝ノ'	(d+e+f)/3＝ノ'	経 常 収 益 ヤ'	実 車 走 行 キ ロ マ'	補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ'÷マ'＝d	経 常 収 益 ヤ	実 車 走 行 キ ロ マ	補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ'÷マ'＝e	経 常 収 益 ヤ	実 車 走 行 キ ロ マ					補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ'÷マ'＝f																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ

補助 ブ ロ ッ ク 名	申 請 番 号	特 例 措 置	ソのうち補助ブ ロック外乗入部 分、同一補助ブ ロック都道府県外 乗入部分及び他 路線との競合部 分以外に係るもの ソ×ヲ=ツ	ソのうち補助ブ ロック外乗入部 分及び同一補助ブ ロック都道府県外 乗入部分以外に 係るもの ソ×ヲ' =ツ'	計画平均乗車 密度が5人 未満の路線 ソ×みなし運行 回数／①計画運	補助対象経費 ナ	計画額 ナ×1/2=ラ	経常費用から 経常収益を控除 した額 ニ×ワ-ヨ=ム	損失額から国庫 補助額を控除し た額 ム-ラ=ウ	ウの負担者とその負担割合								
										都道府県		市区町村		その他の者		事業者自己負担		「その他の者」の 具体的概要
										負担額	負担 割合	負担額	負担 割合	負担額	負担 割合	負担額	負担 割合	
南 九 州	1		30,981,892円	30,981,892円	21,741,678円	21,741 千円	10,870.5千円	35,922,943円	25,052,443円	10,870,500円	43.4%					14,181,943円	56.6%	
	2		12,524,964円	12,524,964円		12,524 千円	6,262.0千円	12,524,964円	6,262,964円	6,262,000円	100.0%					964円		
	3		12,900,505円	12,900,505円		12,900 千円	6,450.0千円	12,900,505円	6,450,505円	6,450,000円	100.0%					505円		
	4		16,743,841円	16,743,841円		16,743 千円	8,371.5千円	16,743,841円	8,372,341円	8,371,500円	100.0%					841円		
	5		20,519,390円	20,519,390円		20,519 千円	10,259.5千円	20,519,390円	10,259,890円	10,259,500円	100.0%					390円		
	6		5,595,156円	5,595,156円	4,795,848円	4,795 千円	2,397.5千円	5,595,156円	3,197,656円	2,397,500円	75.0%					800,156円	25.0%	
	7		1,270,296円	3,992,384円		1,270 千円	635.0千円	3,992,384円	3,357,384円	635,000円	18.9%					2,722,384円	81.1%	
	8		1,792,935円	4,455,715円		1,792 千円	896.0千円	4,455,715円	3,559,715円	896,000円	25.2%					2,663,715円	74.8%	
	9		1,473,197円	1,473,197円		1,473 千円	736.5千円	1,473,197円	736,697円	736,500円	100.0%					197円		
	10		14,146,871円	14,146,871円	9,431,247円	9,431 千円	4,715.5千円	14,146,871円	9,431,371円	4,715,500円	50.0%					4,715,871円	50.0%	
	11		3,400,008円	3,400,008円		3,400 千円	1,700.0千円	3,400,008円	1,700,008円	1,700,000円	100.0%					8円		
	12		1,267,189円	1,267,189円		1,267 千円	633.5千円	1,267,189円	633,689円	633,500円	100.0%					189円		
	13		2,465,570円	2,465,570円		2,465 千円	1,232.5千円	2,465,570円	1,233,070円	1,232,500円	100.0%					570円		
	14		4,402,709円	4,402,709円	1,294,914円	1,294 千円	647.0千円	5,394,196円	4,747,196円	647,000円	13.6%					4,100,196円	86.4%	
	15		365,445円	1,461,783円		365 千円	182.5千円	1,461,783円	1,279,283円	182,500円	14.3%					1,096,783円	85.7%	
合計			129,849,968円	136,331,174円	37,263,687円	111,979 千円	55,989千円	142,263,712円	86,274,212円	55,989,000円	64.9%					30,285,212円	35.1%	

4. (表2) 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額(地域間幹線系統用)

事業者名	産交バス株式会社
------	----------

R9

1. 申請事業者の概要

補助対象期間の前々年度(基準期間※)の損益状況	乗合バス事業						R7
	営業収益	841,204千円	営業外収益	39,328千円	経常収益(イ)	880,532千円	
	営業費用	3,163,230千円	営業外費用	13,854千円	経常費用(ロ)	3,177,084千円	
	営業損益	△ 2,322,026千円	営業外損益	25,474千円	経常損益	△ 2,296,552千円	
補助対象期間の前々年度の実車走行キロ(ハ)	8,380,280.4 km					経常収支率	27.71 %

基準期間の前年度の損益状況	乗合バス事業						R6
	営業収益	753,933千円	営業外収益	30,841千円	経常収益(イ')	784,774千円	
	営業費用	3,079,138千円	営業外費用	10,334千円	経常費用(ロ')	3,089,472千円	
	営業損益	△ 2,325,205千円	営業外損益	20,507千円	経常損益	△ 2,304,698千円	
基準期間の前年度の実車走行キロ(ハ')	8,794,834.1 km					経常収支率	25.40 %

基準期間の前々年度の損益状況	乗合バス事業						R5
	営業収益	683,514千円	営業外収益	60,974千円	経常収益(イ'')	744,488千円	
	営業費用	2,978,817千円	営業外費用	9,562千円	経常費用(ロ'')	2,988,379千円	
	営業損益	△ 2,295,303千円	営業外損益	51,412千円	経常損益	△ 2,243,891千円	
基準期間の前々年度の実車走行キロ(ハ'')	9,585,089.5 km					経常収支率	24.91 %

(補助対象事業者の「基準期間※を最終年度とする連続した過去3年間」における実車走行キロ当たり経常費用等)

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キロ当たり経常費用 (基準期間の前々年度) ロ ÷ ハ' = a	補助対象事業者の実車走行キロ当たり経常費用 (基準期間の前年度) ロ' ÷ ハ' = b	補助対象事業者の実車走行キロ当たり経常費用 (基準期間) ロ ÷ ハ = c
南九州	311円.77銭	351円.28銭	379円.11銭

※「基準期間」とは、補助対象期間の前々年度の補助対象期間をいう。

2. キロ当たり補助対象経常費用及び経常収益

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キロ当たり経常費用 (a+b+c)/3= ニ	地域キロ当たり標準経常費用 ホ	キロ当たり経常費用 ニとホのいずれか少ない額 ヘ	キロ当たり経常費用の差 ニ－ヘ = ケ	キロ当たり経常収益 イ ÷ ハ = ト
南九州	347円.38銭	370円.19銭	347円.38銭		105円.07銭

3. 旅客運賃の上限変更認可状況

補助ブロック名	認可日	認可を受けた補助対象期間	補助金交付要綱別表2(注)4. の適用割合 フ	改定率 コ
南九州	令和7年9月18日	基準期間の 当 年度	1	37.90%
南九州		基準期間の 前 年度	2/3	
南九州	令和5年9月15日	基準期間の 前々 年度	1/3	10.20%

4. 補助対象系統ごとに要する費用、負担者とその負担割合

産交バス株式会社

R9

補助 ブロック 名	申請 番号	特例 措置	運行 系統名	運行系統			計画運行 日数	計画運行回数 ()	計画平均乗車 密度	計画輸 送量	系統キロ程		地域公共交通再編事業を 実施する区域におけるキロ 程	系統キロ程と地 域公共交通再編 事業を実施する 区域におけるキロ 程との比率	補助ブロック外 乗入部分のキロ程	同一補助ブロック都道府県 外乗入部分のキロ程	他路線との競合 部分に係るキロ程	他路線との競合 率	補助ブロック外乗 入部分、同一補 助ブロック都道府 県外乗入部分及 び他路線との競 合部分以外のキ ロ程の比率 (チー(リ+ヌ+ ル))÷チ=ユ	
				起点	主な 経由地	終点					チ	オ								オ÷チ=ク
南九州	1		健軍・東無田經由 熊本・御船線	桜町 バスターミナル	健軍 東無田入口	御船	365日	2,480.0回 (6.7回)	3.0	20.1人	往20.0km 復20.0km	(平均) 20.0km		(平均)		(平均)		(平均)	% 100.000	
	2		河内經由 熊本・小矢線	桜町 バスターミナル	西区役所前 河内電石	小矢温泉	365日	4,231.5回 (11.5回)	4.3	49.4人	往22.5km 復22.5km	(平均) 22.5km		(平均)		(平均)		(平均)	% 100.000	
	3		植木・大倉經由 熊本・玉名線	桜町 バスターミナル	植木 木栗駅前 大倉団地入口	玉名駅前	362日	2,050.0回 (5.6回)	3.6	20.1人	往29.1km 往28.2km	(平均) 28.6km		(平均)		(平均)		(平均)	% 100.000	
	4		菊池經由 山鹿・大津線	山鹿 バスセンター	菊池プラザ 翔陽高校入口	肥後大津駅	365日	3,083.0回 (8.4回)	3.0	25.2人	往35.0km 往34.9km	(平均) 34.9km		(平均)		(平均)		(平均)	% 100.000	
	5		労働庁舎・鬼池港經由 本渡・富岡線	本渡 バスセンター	労働庁舎前 鬼池港 常北町役場前	富岡港	365日	3,273.5回 (8.9回)	2.4	21.3人	往33.3km 往33.3km	(平均) 33.3km		(平均)		(平均)		(平均)	% 100.000	
	6		桜山經由 玉名市役所・荒尾線	玉名市役所前	玉名駅前 桜山	バスセンター	365日	4,351.0回 (11.9回)	2.4	28.5人	往20.0km 往10.0km	(平均) 10.0km		(平均)		(平均)		(平均)	% 100.000	
	7		日奈久經由 八代・田浦線	八代市役 所前	八代工業 高校前	道の駅た のうら	365日	2,905.0回 (7.9回)	2.6	20.5人	往26.6km 往13.3km	(平均) 13.3km		(平均)		(平均)		(平均)	% 100.000	
	8		通尻經由 阿蘇環状線	阿蘇医療セン ター	阿蘇駅前 通尻	阿蘇駅前	365日	5,564.0回 (15.2回)	2.0	30.4人	往23.3km 往23.3km	(平均) 23.3km		(平均)		(平均)		(平均)	% 100.000	
	9		テクノ団地經由 熊本・高森線	西部車庫	桜町バスターミナ ル テクノ団地入口	高森駅交流施設	365日	1,095.0回 (3.0回)	7.5	22.5人	往60.0km 往58.3km	(平均) 59.1km		(平均)		(平均)		(平均)	% 100.000	
合計			9系統								往269.8km 復220.5km	(平均)		(平均)		(平均)		(平均)		

補助 ブロッ ク名	申 請 番 号	特 例 措 置	補助ブロック外乗入 部分及び同一補助ブ ロック都道府県外乗 入部分以外のキロ程 の比率	計画実車走行 キロ	補助対象 経常費用 の見込額	補助対象系統のキロ当たり経常収益														補助対象系統の 経常収益の見込 額	補助対象経常 費用から経常 収益を控除した 額	補助対象経費 の限度額	タ又はレのうちい ずれか少ないほう の額
						ノとノ'のいずれ か少ない額 ノ	補助金交付要綱別表2(注)4 の適用がある場合			3カ年平均 (d+e+f)/3=ノ'	基準期間の前々年度			基準期間の前年度			基準期間						
							基準期間における 実車走行キロ 当たり経常収益 の通算改定による 増収分 f×コ÷(1+ゴ)× フ=g	経常収益控除額 ケとのいずれか 少ない額 h	補助金交付要綱 別表2(注)4. の 適用後のキロ当 たり経常収益 ノ'−h=ノ"		経常収益 ヤ"	実車走行 キロ マ"	補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ"÷マ"=d	経常収益 ヤ"	実車走行 キロ マ	補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ"÷マ=e	経常収益 ヤ"	実車走行 キロ マ	補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ"÷マ=f				
1			100.000%	99,200.0km	34,460,096円	141円.35銭	662,604円.77銭	141円.35銭	141円.35銭	12,524,361円	98,700.0km	126円.89銭	14,012,047円	98,920.0km	141円.65銭	15,391,987円	98,960.0 km	155円.53銭	14,021,920円	20,438,176円	15,507,043円	15,507,043円	
2			100.000%	195,002.2km	67,739,864円	174円.26銭	824,198円.02銭	174円.26銭	174円.26銭	29,971,121円	194,840.9km	153円.82銭	34,083,178円	194,173.2km	175円.52銭	37,614,097円	194,426.4 km	193円.46銭	33,981,083円	33,758,781円	30,482,938円	30,482,938円	
3			100.000%	117,465.0km	40,804,991円	153円.15銭	682,841円.21銭	153円.15銭	153円.15銭	16,892,775円	117,606.9km	143円.63銭	18,140,166円	116,605.5km	155円.56銭	18,738,828円	116,910.9 km	160円.28銭	17,989,764円	22,815,227円	18,362,245円	18,362,245円	
4			100.000%	215,501.7km	74,860,980円	101円.91銭	468,249円.79銭	101円.91銭	101円.91銭	24,451,258円	269,965.4km	90円.57銭	25,612,906円	243,349.8km	105円.25銭	23,905,141円	217,483.2 km	109円.91銭	21,961,778円	52,899,202円	33,687,441円	33,687,441円	
5			100.000%	218,015.1km	75,734,085円	93円.38銭	412,269円.42銭	93円.38銭	93円.38銭	21,788,426円	260,808.4km	83円.54銭	21,613,116円	216,483.3km	99円.83銭	20,986,129円	216,849.6 km	96円.77銭	20,358,250円	55,375,835円	34,080,338円	34,080,338円	
6			100.000%	171,163.0km	59,458,602円	112円.65銭	505,442円.22銭	112円.65銭	112円.65銭	18,690,052円	171,300.9km	109円.10銭	18,754,743円	170,139.1km	110円.23銭	20,241,445円	170,612.1 km	118円.64銭	19,281,511円	40,177,091円	26,756,370円	26,756,370円	
7			100.000%	154,546.0km	53,686,189円	64円.61銭	295,792円.77銭	64円.61銭	64円.61銭	9,166,892円	153,641.6km	59円.66銭	9,979,531円	154,120.4km	64円.75銭	10,244,586円	147,550.2 km	69円.43銭	9,985,217円	43,700,972円	24,158,785円	24,158,785円	
8			100.000%	126,480.9km	43,936,935円	65円.82銭	299,073円.20銭	65円.82銭	65円.82銭	7,035,457円	126,805.8km	55円.46銭	9,016,286円	125,606.4km	71円.78銭	8,872,296円	126,376.0 km	70円.20銭	8,324,972円	35,611,963円	19,771,620円	19,771,620円	
9			100.000%	129,538.5km	44,999,084円	217円.93銭	920,566円.06銭	217円.93銭	217円.93銭	27,628,375円	129,074.4km	214円.04銭	28,862,518円	129,023.8km	223円.69銭	27,927,827円	129,241.9 km	216円.08銭	28,230,325円	16,768,759円	20,249,587円	16,768,759円	
合計				1,426,912.4km	495,680,826円					168,148,717円	1,522,744.3km		180,074,491円	1,448,421.5km		183,922,336円	1,418,410.3km		174,134,820円	321,546,006円	223,056,367円	219,575,539円	

補助 ブ ロ ッ ク 名	申 請 番 号	特 例 措 置	ソのうち補助ブロッ ク外乗入部分、同ー補 助ブロック都道府県 外乗入部分及び他路 線との競合部分以外 に係るもの	ソのうち補助ブ ロック外乗入部分 及び同一補助ブ ロック都道府県外 乗入部分以外に 係るもの	計画平均乗車 密度が5人 未満の路線	補助対象経費	計画額	経常費用から 経常収益を控除 した額	損失額から国庫 補助額を控除し た額	ウの負担者とその負担割合								
										都道府県		市区町村		その他の者		事業者自己負担		「その他の者」の 具体的概要
										負担額	負担 割合	負担額	負担 割合	負担額	負担 割合	負担額	負担 割合	
南 九 州	1		15,507,043円	15,507,043円	9,257,936円	9,257 千円	4,628.5千円	20,438,176円	15,809,676円	4,628,500円	29.3%					11,181,176円	70.7%	
	2		30,482,938円	30,482,938円	23,856,212円	23,856 千円	11,928.0千円	33,758,781円	21,830,781円	11,928,000円	54.6%					9,902,781円	45.4%	
	3		18,362,245円	18,362,245円	13,115,889円	13,115 千円	6,557.5千円	22,815,227円	16,257,727円	6,557,500円	40.3%					9,700,227円	59.7%	
	4		33,687,441円	33,687,441円	20,052,048円	20,052 千円	10,026.0千円	52,899,202円	42,873,202円	10,026,000円	23.4%					32,847,202円	76.6%	
	5		34,080,338円	34,080,338円	15,317,005円	15,317 千円	7,658.5千円	55,375,835円	47,717,335円	7,658,500円	16.0%					40,058,835円	84.0%	
	6		26,756,370円	26,756,370円	11,242,172円	11,242 千円	5,621.0千円	40,177,091円	34,556,091円	5,621,000円	16.3%					28,935,091円	83.7%	
	7		24,158,785円	24,158,785円	12,232,296円	12,232 千円	6,116.0千円	43,700,972円	37,584,972円	6,116,000円	16.3%					31,468,972円	83.7%	
	8		19,771,620円	19,771,620円	7,804,586円	7,804 千円	3,902.0千円	35,611,963円	31,709,963円	3,902,000円	12.3%					27,807,963円	87.7%	
	9		16,768,759円	16,768,759円		16,768 千円	8,384.0千円	16,768,759円	8,384,759円	8,384,000円	100.0%					759円		
合計			219,575,539円	219,575,539円	112,878,144円	129,643 千円	64,821千円	321,546,006円	256,724,506円	64,821,000円	25.2%					191,903,506円	74.8%	

4. (表2) 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額(地域間幹線系統用)

事業者名	熊本電気鉄道株式会社
------	------------

R9

1. 申請事業者の概要

補助対象期間の 前々年度(基準期間 [※])の 損益状況	乗合バス事業						R7
	営業収益	908,587千円	営業外収益	3,656千円	経常収益(イ)	912,243千円	
	営業費用	1,081,965千円	営業外費用	15,734千円	経常費用(ロ)	1,097,699千円	
	営業損益	△ 173,378千円	営業外損益	△ 12,078千円	経常損益	△ 185,456千円	
補助対象期間の 前々年度の 実車走行キロ(ハ)	2,412,702.7 km				経常収支率	83.10 %	

基準期間の前年度の 損益状況	乗合バス事業						R6
	営業収益	872,472千円	営業外収益	3,001千円	経常収益(イ')	875,473千円	
	営業費用	989,913千円	営業外費用	12,146千円	経常費用(ロ')	1,002,059千円	
	営業損益	△ 117,441千円	営業外損益	△ 9,145千円	経常損益	△ 126,586千円	
基準期間の前年度の 実車走行キロ(ハ')	2,386,368.9 km				経常収支率	87.36 %	

基準期間の前々年度の 損益状況	乗合バス事業						R5
	営業収益	746,634千円	営業外収益	7,741千円	経常収益(イ'')	754,375千円	
	営業費用	956,213千円	営業外費用	9,596千円	経常費用(ロ'')	965,809千円	
	営業損益	△ 209,579千円	営業外損益	△ 1,855千円	経常損益	△ 211,434千円	
基準期間の前々年度の 実車走行キロ(ハ'')	2,365,826.0 km				経常収支率	78.10 %	

(補助対象事業者の「基準期間[※]を最終年度とする連続した過去3年間」における実車走行キロ当たり経常費用等)

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 (基準期間の前々年度) ロ''÷ハ''=a	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 (基準期間の前年度) ロ'÷ハ'=b	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 (基準期間) ロ÷ハ=c
南九州	408円.23銭	419円.90銭	454円.96銭

※「基準期間」とは、補助対象期間の前々年度の補助対象期間をいう。

2. キロ当たり補助対象経常費用及び経常収益

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キ ロ当たり経常費用 (a+b+c)/3=ニ	地域キロ当たり 標準経常費用 ホ	キロ当たり経常費用 ニとホのいずれか少ない額 ヘ	キロ当たり経常費用の差 ニ－ヘ = ケ	キロ当たり経常収益 イ÷ハ=ト
南九州	427円.69銭	370円.19銭	370円.19銭	57.5	378円.10銭

3. 旅客運賃の上限変更認可状況

補助ブロック名	認可日	認可を受けた補助対象期間	補助金交付要 綱別表2(注) 4.の適用割合 フ	改定率 コ
南九州		基準期間の 当 年度	1	
南九州		基準期間の 前 年度	2/3	
南九州	2023.9.15	基準期間の 前々 年度	1/3	15.88%

4. 補助対象系統ごとに要する費用、負担者とその負担割合

熊本電気鉄道株式会社 R9

補助 ブ ロッ ク 名	申 請 番 号	特 例 措 置	運 行 系 統 名	運 行 系 統			計 画 運 行 日 数	計 画 運 行 回 数 ()	計 画 平 均 乗 車 密 度	計 画 輸 送 量	系 統 キ ロ 程		地 域 公 共 交 通 再 編 事 業 を 実 施 す る 区 域 に お け る キ ロ 程		系 統 キ ロ 程 と 地 域 公 共 交 通 再 編 事 業 を 実 施 す る 区 域 に お け る キ ロ 程 と の 比 率		補 助 ブ ロッ ク 外 乗 入 部 分 の キ ロ 程		同 一 補 助 ブ ロッ ク 都 道 府 県 外 乗 入 部 分 の キ ロ 程		他 路 線 と の 競 合 部 分 に 係 る キ ロ 程		他 路 線 と の 競 合 率		補 助 ブ ロッ ク 外 乗 入 部 分 、 同 一 補 助 ブ ロッ ク 都 道 府 県 外 乗 入 部 分 及 び 他 路 線 と の 競 合 部 分 以 外 の キ ロ 程 の 比 率 ($\frac{\text{チー}-(\text{リ}+\text{ヌ}+\text{ル})}{\text{チー}}$)
				起 点	主 な 経 由 地	終 点					①＝カ ッコ 内	②	①×② ＝③	チ	オ	オ÷チ＝ ク	リ	ヌ	ル	ル÷チ					
南 九 州	1		377新地団地線 (合志市役所)	桜町バスターミナ ル	三軒町 新地団地	合志市役所	362日	1,448.0回 (4.0回)	5.6	22.4人	往17.2km 復17.2km	(平均) 17.2km		(平均)		(平均)		(平均)		(平均)	往12.3km 復12.3km	(平均) 12.3km	% 71.511	% 28.488	
	2											(平均)		(平均)		(平均)		(平均)		(平均)		(平均)	%	%	
	3											(平均)		(平均)		(平均)		(平均)		(平均)		(平均)	%	%	
	4											(平均)		(平均)		(平均)		(平均)		(平均)		(平均)	%	%	
	5											(平均)		(平均)		(平均)		(平均)		(平均)		(平均)	%	%	
合 計			1系統								往17.2km 復17.2km	(平均)		(平均)			(平均) 24.6km		(平均) 71.5km		(平均) 往12.3km 復12.3km	(平均)			

熊本電気鉄道株式会社 R9

補助 ブ ロッ ク 名	申 請 番 号	特 例 措 置	補助ブロック外乗 入部分及び同一 補助ブロック都道 府県外乗入部分 以外のキロ程の 比率 (チー(リ+ヌ)÷ チ=ヲ)	計画実車走行 キロ ワ	補助対象 経常費用 の見込額 ヘ×ワ以下の額: カ	補助対象系統のキロ当たり経常収益												補助対象系統の 経常収益の見込 額 ノ×ワ以上の額: ヨ	補助対象経常 費用から経常 収益を控除した 額 カーヨ=タ	補助対象経費 の限度額 カ×9/20=レ	タ又はレのうちい ずれか少ないほ うの額 ソ		
						補助対象系統のキロ当たり経常収益																	
						補助金交付要綱別表2(注)4 の適用がある場合			3カ年平均		基準期間の前々年度		基準期間の前年度		基準期間								
						基準期間にお ける実車走行キロ 当たり経常収益 の運賃改定による 増収分 f×コ÷(1+コ)× プ=g	経常収益控除額 ケとgのいずれか 少ない額 h	補助金交付要 綱別表2(注)4. の適用後のキロ当 たり経常収益 ノーh=ノ	(d+e+f)/3=ノ	経常収益 ヤ ^ア	実車走行 キロ マ ^ア	補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ ^ア ÷マ ^ア =d	経常収益 ヤ ^ア	実車走行 キロ マ ^ア	補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ ^ア ÷マ ^ア =e	経常収益 ヤ ^ア	実車走行 キロ マ ^ア					補助対象系統の 実車走行キロ当 たり経常収益 ヤ ^ア ÷マ ^ア =f	
南 九 州	1		100.000%	49,811.2km	18,439,608円	249円.27銭	2,038,924円.81銭	57円.50銭	249円.27銭	306円.77銭	14,308,221円	49,811.2km	287円.24銭	15,389,090円	49,673.6km	309円.80銭	16,085,794円	49,759.6 km	323円.27銭	12,416,437円	6,023,171円	8,297,823円	6,023,171円
	2																						
	3																						
	4																						
	5																						
合計				49,811.2km	18,439,608円						14,308,221円	49,811.2km		15,389,090円	49,673.6km		16,085,794円	49,759.6km		12,416,437円	6,023,171円	8,297,823円	6,023,171円

熊本電気鉄道株式会社 R9

補助 ブ ロッ ク 名	申 請 番 号	特 例 措 置	ソのうち補助ブ ロック外乗入部 分、同一補助ブ ロック都道府県 外乗入部分及び 他路線との競合 部分以外に係る もの ソ×ヲ=ツ	ソのうち補助ブ ロック外乗入部 分及び同一補助 ブロック都道府 県外乗入部分以 外に係るもの ソ×ワ=ツ'	計画平均乗車 密度が5人未 満の路線 ソ×みなし運行 回数÷①計画運	補助対象経費 ナ	計画額 ナ×1/2=ラ	経常費用から 経常収益を控 除した額 ニ×ワーヨ=ム	損失額から国庫 補助額を控除 した額 ムーラ=ウ	ウの負担者とその負担割合									
										都道府県		市区町村		その他の者		事業者自己負担		「その他の者」の 具体的概要	
										負担額	負担 割合	負担額	負担 割合	負担額	負担 割合	負担額	負担 割合		
南 九 州	1		1,715,880円	6,023,171円		1,715 千円	857.5千円	8,887,315円	8,029,815円	857,500円	10.7%					7,172,315円	89.3%		
	2																		
	3																		
	4																		
	5																		
合 計			1,715,880円	6,023,171円		1,715 千円	857千円	8,887,315円	8,029,815円	857,000円	10.7%					7,172,815円	89.3%		

4. (表2) 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額(地域間幹線系統用)

事業者名	西鉄バス大牟田株式会社
------	-------------

R9

1. 申請事業者の概要

補助対象期間の 前々年度(基準期間 [※])の 損益状況	乗合バス事業						R7
	営業収益	232,290千円	営業外収益	6,813千円	経常収益(イ)	239,093千円	
	営業費用	338,148千円	営業外費用	21千円	経常費用(ロ)	338,169千円	
	営業損益	△ 105,868千円	営業外損益	6,792千円	経常損益	△ 99,076千円	
補助対象期間の 前々年度の 実車走行キロ(ハ)	1,055,853.5 km				経常収支率	70.70 %	

基準期間の前年度の 損益状況	乗合バス事業						R6
	営業収益	211,547千円	営業外収益	9,966千円	経常収益(イ')	221,513千円	
	営業費用	327,422千円	営業外費用	112千円	経常費用(ロ')	327,534千円	
	営業損益	△ 115,875千円	営業外損益	9,854千円	経常損益	△ 106,021千円	
基準期間の前年度の 実車走行キロ(ハ')	1,074,757.7 km				経常収支率	67.63 %	

基準期間の前々年度の 損益状況	乗合バス事業						R5
	営業収益	211,905千円	営業外収益	16,468千円	経常収益(イ'')	228,373千円	
	営業費用	340,536千円	営業外費用	687千円	経常費用(ロ'')	341,223千円	
	営業損益	△ 128,631千円	営業外損益	15,781千円	経常損益	△ 112,850千円	
基準期間の前々年度の 実車走行キロ(ハ'')	1,114,650.9 km				経常収支率	66.92 %	

(補助対象事業者の「基準期間[※]を最終年度とする連続した過去3年間」における実車走行キロ当たり経常費用等)

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 (基準期間の前々年度) $\text{ロ}'' \div \text{ハ}'' = \text{a}$	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 (基準期間の前年度) $\text{ロ}' \div \text{ハ}' = \text{b}$	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 (基準期間) $\text{ロ} \div \text{ハ} = \text{c}$
南九州	306円.12銭	304円.75銭	320円.28銭

※「基準期間」とは、補助対象期間の前々年度の補助対象期間をいう。

2. キロ当たり補助対象経常費用及び経常収益

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キ ロ当たり経常費用 $(\text{a} + \text{b} + \text{c}) / 3 = \text{ニ}$	地域キロ当たり 標準経常費用 ホ	キロ当たり経常費用 ニとホのいずれか少ない額 ヘ	キロ当たり経常費用の差 $\text{ニ} - \text{ヘ} = \text{ケ}$	キロ当たり経常収益 $\text{イ} \div \text{ハ} = \text{ト}$
南九州	310円.38銭	370円.19銭	310円.38銭		226円.44銭

3. 旅客運賃の上限変更認可状況

補助ブロック名	認可日	認可を受けた補助対象期間	補助金交付要 綱別表2(注) 4. の適用割合 フ	改定率 コ
南九州	令和6年7月31日	基準期間の 当 年度	1	32.06%
南九州		基準期間の 前 年度	2/3	
南九州		基準期間の 前々 年度	1/3	

西鉄バス大牟田株式会社 R9

西鉄バス大牟田株式会社 R9

西鉄バス大牟田株式会社	R9
-------------	----

4. (表2) 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額(地域間幹線系統用)

事業者名	南国交通株式会社
------	----------

R9

1. 申請事業者の概要

補助対象期間の 前々年度(基準期間 [※])の 損益状況	乗合バス事業						R7
	営業収益	1,721,417千円	営業外収益	10,109千円	経常収益(イ)	1,731,526千円	
	営業費用	2,374,543千円	営業外費用	17,927千円	経常費用(ロ)	2,392,470千円	
	営業損益	△ 653,126千円	営業外損益	△ 7,818千円	経常損益	△ 660,944千円	
補助対象期間の 前々年度の 実車走行キロ(ハ)	6,734,171.7 km				経常収支率	72.37 %	

基準期間の前年度の 損益状況	乗合バス事業						R6
	営業収益	2,422,771千円	営業外収益	24,194千円	経常収益(イ')	2,446,965千円	
	営業費用	2,727,493千円	営業外費用	12,706千円	経常費用(ロ')	2,740,199千円	
	営業損益	△ 304,722千円	営業外損益	11,488千円	経常損益	△ 293,234千円	
基準期間の前年度の 実車走行キロ(ハ')	8,637,346.6 km				経常収支率	89.29 %	

基準期間の前々年度の 損益状況	乗合バス事業						R5
	営業収益	2,295,646千円	営業外収益	7,839千円	経常収益(イ'')	2,303,485千円	
	営業費用	2,741,880千円	営業外費用	9,159千円	経常費用(ロ'')	2,751,039千円	
	営業損益	△ 446,234千円	営業外損益	△ 1,320千円	経常損益	△ 447,554千円	
基準期間の前々年度の 実車走行キロ(ハ'')	9,010,733.5 km				経常収支率	83.73 %	

(補助対象事業者の「基準期間[※]」を最終年度とする連続した過去3年間)における実車走行キロ当たり経常費用等)

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 (基準期間の前々年度) ロ''÷ハ''=a	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 (基準期間の前年度) ロ'÷ハ'=b	補助対象事業者の実車走行キロ当 たり経常費用 (基準期間) ロ÷ハ=c
南九州	305円.30銭	317円.25銭	355円.27銭

※「基準期間」とは、補助対象期間の前々年度の補助対象期間をいう。

2. キロ当たり補助対象経常費用及び経常収益

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キ ロ当たり経常費用 (a+b+c)/3=ニ	地域キロ当たり 標準経常費用 ホ	キロ当たり経常費用 ニとホのいずれか少ない額 ヘ	キロ当たり経常費用の差 ニ-ヘ = ケ	キロ当たり経常収益 イ÷ハ=ト
南九州	325円.94銭	370円.19銭	325円.94銭		257円.12銭

3. 旅客運賃の上限変更認可状況

補助ブロック名	認可日	認可を受けた補助対象期間	補助金交付要 綱別表2(注) 4. の適用割合 フ	改定率 コ
南九州		基準期間の 当 年度	1	
南九州	令和5年10月4日	基準期間の 前 年度	2/3	39.90%
南九州		基準期間の 前々 年度	1/3	

4. 補助対象系統ごとに要する費用、負担者とその負担割合

南国交通株式会社

R9

補助 ブ ロ ッ ク 名	申 請 番 号	特 例 措 置	運 行 系 統 名	運 行 系 統			計 画 運 行 日 数	計 画 運 行 回 数 () ①＝カッコ内	計 画 平 均 乗 車 密 度 ②	計 画 輸 送 量 ①×② ＝③	系 統 キ ロ 程		地 域 公 共 交 通 再 編 事 業 を 実 施 す る 区 域 に お け る キ ロ 程	系 統 キ ロ 程 と 地 域 公 共 交 通 再 編 事 業 を 実 施 す る 区 域 に お け る キ ロ 程 と の 比 率	補 助 ブ ロ ッ ク 外 乗 入 部 分 の キ ロ 程		同 一 補 助 ブ ロ ッ ク 都 道 府 県 外 乗 入 部 分 の キ ロ 程		他 路 線 と の 競 合 部 分 に 係 る キ ロ 程		他 路 線 と の 競 合 率	補 助 ブ ロ ッ ク 外 乗 入 部 分、 同 一 補 助 ブ ロ ッ ク 都 道 府 県 外 乗 入 部 分 及 び 他 路 線 と の 競 合 部 分 以 外 の キ ロ 程 の 比 率 (チ ー (リ ＋ ヌ ＋ ル) ÷ チ ニ ヲ)			
				起 点	主 な 経 由 地	終 点					チ				オ		リ		ヌ				ル		ル ÷ チ
											往 43.9km 復 43.9km	(平 均)			往 43.9km 復 43.9km	(平 均)	往 34.8km 復 34.8km	(平 均)	往 34.8km 復 34.8km	(平 均)			往 34.8km 復 34.8km	(平 均)	
南九州	1		水俣線	佐潟口	出水	水俣車庫	365日	2,795.0回 (7.6回)	4.8	36.4人	往43.9km 復43.9km	(平均)		(平均)		(平均)	往34.8km 復34.8km	(平均)	往34.8km 復34.8km	(平均)	(平均)	%	% 20.728		
合計			1系統								往43.9km 復43.9km	(平均)		(平均)		(平均)	往34.8km 復34.8km	(平均)		(平均)					

南国交通株式会社

R9

補助 ブ ロ ッ ク 名	申 請 番 号	特 例 措 置	補助ブロック外乗 入部分及び同一 補助ブロック都道 府県外乗入部分 以外のキロ程の 比率 (チー(リ+ヌ)÷ チ=ラ')	計画実車走行 キロ ワ	補助対象 経常費用 の見込額 ヘ×ワ以下の額: カ	補助対象系統のキロ当たり経常収益										補助対象系統の 経常収益の見込 額 ノ×ワ以上の額: ヨ	補助対象経常 費用から経常 収益を控除した 額 カーヨ=タ	補助対象経費 の限度額 カ×9/20=レ	タ又はレのうちい ずれか少ないほ うの額 ソ
						補助対象系統のキロ当たり経常収益													
						補助対象系統のキロ当たり経常収益													
						補助対象系統のキロ当たり経常収益													

南国交通株式会社

R9

補 助 ブ ロ ッ ク 名	申 請 番 号	特 例 措 置	ソのうち補助ブ ロック外乗入部 分、同一補助ブ ロック都道府県外 乗入部分及び他 路線との競合部 分以外に係るも の ソ×ヲ＝ツ	ソのうち補助ブ ロック外乗入部 分及び同一補助ブ ロック都道府県外 乗入部分以外に 係るもの ソ×ヲ'＝ツ'	計画平均乗車 密度から人 未満の路線 ソ×ミなし運行 回数／①計画運	補助対象経費 ナ	計画額 ナ×1/2＝ラ	経常費用から 経常収益を控除 した額 ニ×ワヨ＝ム	損失額から国庫 補助額を控除し た額 ムーラ＝ウ	ウの負担者とその負担割合									
										ウの負担者とその負担割合									
										ウの負担者とその負担割合									
										ウの負担者とその負担割合									
南九州	1		7,460,774円	7,460,774円	6,871,765円	6,871 千円	3,435.5千円	46,650,730円	43,215,230円	3,435,500円	7.9%	2,209,000円	5.1%	21,587,500円	50.0%	15,983,230円	37.0%		
合計			7,460,774円	7,460,774円	6,871,765円	6,871 千円	3,435.5千円	46,650,730円	43,215,230円	3,435,000円	7.9%	2,209,000円	5.1%	21,587,500円	50.0%	15,983,730円	37.0%		

5. (表3)別表1の補助事業の基準二に基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧

都道府県名	広域行政圏名	市町村名	指定の理由
熊本県	宇城	宇城市 (旧松橋町)	要綱上の宇城広域行政圏の中心市町村は宇土市であるが、宇城市は、平成17年に5町が合併し、旧松橋町はその中心として発展している。 また、総合病院等の医療機関や県立高校及び大型商業施設、バスターミナルがあることから、周辺地域からの乗合バスによる流入人口は他の中心市町村と比較しても遜色がないため、中心市町村に準ずる市町村としたもの。

6. (表4)同一の補助対象系統として取り扱うことを協議会が特に認めた運行系統の範囲について

都道府県名	事業者名	申請番号	主運行系統名	主運行系統			計画運行日数	計画運行回数 ()	計画平均乗車密度	計画輸送量	系統キロ程		主運行系統と同一の補助対象系統として取り扱う系統 異なる区間	計画運行日数	計画運行回数 ()	計画平均乗車密度	計画輸送量	系統キロ程		主運行系統と異なるキロ程	主運行系統と異なる割合	協議会が必要と認める理由
				起点	主な経由地	終点																
熊本県	産交バス㈱	8	堅志田経由松橋・砥用線	松橋駅前	堅志田	砥用中央	365 日	3,213.0 回 (8.8 回)	1.4	12.3 人	往22.4 Km 復22.4 Km		宇土駅前～松橋駅前	365 日	413.5 回 (1.1 回)	1.4	1.5 人	往27.7 Km 復27.7 Km		4.3 km	19.1%	主系統と同様に砥用方面からの通院・通学の目的で利用されていることから、同一系統と判断。

<参考> 基本的な取扱い(主系統と異なる区間のキロ程が10%以内かつ10km以内)として、同一補助対象系統とみなすもの

都道府県名	事業者名	申請番号	主運行系統名	主運行系統			計画運行日数	計画運行回数 ()	計画平均乗車密度	計画輸送量	系統キロ程		主運行系統と同一の補助対象系統として取り扱う系統 異なる区間	計画運行日数	計画運行回数 ()	計画平均乗車密度	計画輸送量	系統キロ程		主運行系統と異なるキロ程	主運行系統と異なる割合
				起点	主な経由地	終点															
熊本県	産交バス㈱	2	河内経由熊本・小田線	桜町バスターミナル	西区役所前 河内亀石	小天温泉	365 日	3,025.0 回 (8.2 回)	4.3	35.2 人	往22.5 Km 復22.5 Km		小天温泉～天水支所	365 日	1,206.5 回 (3.3 回)	4.3	14.1 人	往24.4 Km 復24.4 Km		1.9 km	8.4%
		10	道尻経由阿蘇環状線	阿蘇医療センター	阿蘇駅前 道尻	阿蘇駅前	365 日	3,133.0 回 (8.5 回)	2.0	17.0 人	往23.3 Km 復23.3 Km		阿蘇医療センター～阿蘇駅前	365 日	2,431.0 回 (6.6 回)	2.0	13.2 人	往22.0 Km 復22.0 Km		1.3 km	5.5%
	西鉄バス大牟田㈱	1	西鉄大牟田営業所～大牟田市立病院・上町～庄山	西鉄大牟田営業所	大牟田市立病院・上町	庄山	365 日	964.0 回 (2.6 回)	1.2	3.1 人	往10.5 Km 復10.5 Km		延命公園・動物園前	365 日	496.0 回 (1.3 回)	1.2	1.5 人	往10.2 Km 復10.2 Km		0.3 km	2.8%
		2	西鉄大牟田営業所～延命公園動物園前・大牟田市立病院・新大牟田駅～南関町役場	西鉄大牟田営業所	動物園前・新大牟田駅	南関町役場	365 日	4,554.0 回 (12.4 回)	2.7	33.4 人	往19.0 Km 復19.0 Km		警察署前～文化会館前	365 日	482.0 回 (1.3 回)	2.7	3.5 人	往19.2 Km 復19.2 Km		0.2 km	1.0%
		4	荒尾駅前～天領橋・高泉団地～三池中町	荒尾駅	天領橋・高泉団地	三池中町	365 日	3,319.5 回 (9.0 回)	3.6	32.4 人	往11.1 Km 復11.1 Km		高泉団地	365 日	482.0 回 (1.3 回)	3.6	4.6 人	往10.0 Km 復10.0 Km		1.1 km	9.9%

7.生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項

今後の人口減少が見込まれる中で、このまま赤字額が拡大していけば、国や地方公共団体やバス事業者の負担が一層増加し、系統の維持が困難となる懸念がある。路線バス事業の生産性向上を図り、持続可能な地域公共交通ネットワークを形成することを目的とする。
系統ごとの生産性向上の取組については、次のとおりである。

番号	事業者名	系統名	関係市町村	取組内容	実施主体	数値目標					実施時期
						増収額 (費用削減額)	【参考】 収支率 (R6)	収支率 (R7)	収支率 (R9)	収支 改善率	
1	1 熊本バス㈱	直行線	熊本市 嘉島町 御船町 山都町	・関係自治体と連携し、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の医療機関及び大型商業施設（イオンモール熊本）と連携し、施設内への時刻表掲示等を行うことで、利用者の増加を図る ・関係自治体のHPや広報誌の活用、公共施設への配布等により、バス利用に関する広報・周知を強化し、一層の利用促進を図る ・山都町・御船町において、デジタルチケットを活用し、路線バスによる観光利用の魅力を発信することで利用者増を図る ・嘉島町において本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る	熊本バス㈱ 熊本市 嘉島町 御船町 山都町	771 千円	50.69%	45.21%	46.23%	1.02%	R8年10月 ～ R9年9月
2	2 熊本バス㈱	砥用線	熊本市 嘉島町 御船町 甲佐町 美里町	・関係自治体と連携し、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の医療機関及び大型商業施設（イオンモール熊本）と連携し、施設内への時刻表掲示等を行うことで、利用者の増加を図る ・関係自治体のHPや広報誌の活用、公共施設への配布等により、バス利用に関する広報・周知を強化し、一層の利用促進を図る ・御船町において、デジタルチケットを活用し、路線バスによる観光利用の魅力を発信することで利用者増を図る ・嘉島町において、本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る ・美里町において、本系統の主要バス停を乗継拠点として位置付け、各集落から拠点まで乗合タクシーにより利用者を集約することで、継続的な生産性の向上を図る。	熊本バス㈱ 熊本市 嘉島町 御船町 甲佐町 美里町	424 千円	62.31%	66.10%	67.29%	1.19%	R8年10月 ～ R9年9月
3	3 熊本バス㈱	辺境・甲佐線	熊本市 嘉島町 御船町 甲佐町	・関係自治体と連携し、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の医療機関及び大型商業施設（イオンモール熊本）と連携し、施設内への時刻表掲示等を行うことで、利用者の増加を図る ・関係自治体のHPや広報誌の活用、公共施設への配布等により、バス利用に関する広報・周知を強化し、一層の利用促進を図る ・御船町において、デジタルチケットを活用し、路線バスによる観光利用の魅力を発信することで利用者増を図る ・嘉島町において、本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る	熊本バス㈱ 熊本市 嘉島町 御船町 甲佐町	423 千円	70.58%	72.69%	73.70%	1.01%	R8年10月 ～ R9年9月
4	4 熊本バス㈱	御船・甲佐線	熊本市 嘉島町 御船町 甲佐町	・関係自治体と連携し、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の医療機関及び大型商業施設（イオンモール熊本）と連携し、施設内への時刻表掲示等を行うことで、利用者の増加を図る ・関係自治体のHPや広報誌の活用、公共施設への配布等により、バス利用に関する広報・周知を強化し、一層の利用促進を図る ・御船町において、デジタルチケットを活用し、路線バスによる観光利用の魅力を発信することで利用者増を図る ・嘉島町において、本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る	熊本バス㈱ 熊本市 嘉島町 御船町 甲佐町	541 千円	69.90%	68.97%	69.98%	1.01%	R8年10月 ～ R9年9月
5	5 熊本バス㈱	健軍線	熊本市 嘉島町 御船町 甲佐町	・関係自治体と連携し、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の医療機関及び大型商業施設（イオンモール熊本）と連携し、施設内への時刻表掲示等を行うことで、利用者の増加を図る ・関係自治体のHPや広報誌の活用、公共施設への配布等により、バス利用に関する広報・周知を強化し、一層の利用促進を図る ・御船町において、デジタルチケットを活用し、路線バスによる観光利用の魅力を発信することで利用者増を図る ・嘉島町において、本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る	熊本バス㈱ 熊本市 嘉島町 御船町 甲佐町	676 千円	72.95%	68.60%	69.61%	1.01%	R8年10月 ～ R9年9月
6	6 熊本バス㈱	健軍・イオン線	熊本市 嘉島町	・関係自治体と連携し、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の医療機関及び大型商業施設（イオンモール熊本）と連携し、施設内への時刻表掲示等を行うことで、利用者の増加を図る ・関係自治体のHPや広報誌の活用、公共施設への配布等により、バス利用に関する広報・周知を強化し、一層の利用促進を図る ・嘉島町において、本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る	熊本バス㈱ 熊本市 嘉島町	172 千円	69.37%	62.37%	63.37%	1.00%	R8年10月 ～ R9年9月

7.生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項

今後の人口減少が見込まれる中で、このまま赤字額が拡大していけば、国や地方公共団体やバス事業者の負担が一層増加し、系統の維持が困難となる懸念がある。路線バス事業の生産性向上を図り、持続可能な地域公共交通ネットワークを形成することを目的とする。
系統ごとの生産性向上の取組については、次のとおりである。

番号	事業者名	系統名	関係市町村	取組内容	実施主体	数値目標					実施時期
						増収額 (費用削減額)	【参考】 収支率 (R6)	収支率 (R7)	収支率 (R9)	収支 改善率	
7	7 熊本バス(株)	宇土線	熊本市 嘉島町 宇土市	・関係自治体と連携し、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の医療機関及び大型商業施設（イオンモール熊本）と連携し、施設内への時刻表掲示等を行うことで、利用者の増加を図る ・関係自治体のHPや広報誌の活用、公共施設への配布等により、バス利用に関する広報・周知を強化し、一層の利用促進を図る ・嘉島町において、本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る	熊本バス(株) 熊本市 嘉島町 宇土市	190 千円	82.22%	76.57%	77.64%	1.07%	R8年10月 ～ R9年9月
8	8 熊本バス(株)	松橋線	熊本市 嘉島町 宇城市	・関係自治体と連携し、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の医療機関及び大型商業施設（イオンモール熊本）と連携し、施設内への時刻表掲示等を行うことで、利用者の増加を図る ・関係自治体のHPや広報誌の活用、公共施設への配布等により、バス利用に関する広報・周知を強化し、一層の利用促進を図る ・嘉島町において、本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る	熊本バス(株) 熊本市 嘉島町 宇城市	195 千円	79.51%	74.45%	75.53%	1.08%	R8年10月 ～ R9年9月
9	9 熊本バス(株)	画図線	熊本市 嘉島町	・関係自治体と連携し、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の医療機関及び大型商業施設（イオンモール熊本）と連携し、施設内への時刻表掲示等を行うことで、利用者の増加を図る ・関係自治体のHPや広報誌の活用、公共施設への配布等により、バス利用に関する広報・周知を強化し、一層の利用促進を図る ・嘉島町において、本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る	熊本バス(株) 熊本市 嘉島町	156 千円	94.05%	88.85%	90.17%	1.32%	R8年10月 ～ R9年9月
10	10 熊本バス(株)	乙女線	熊本市 嘉島町 甲佐町	・関係自治体と連携し、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の医療機関及び大型商業施設（イオンモール熊本）と連携し、施設内への時刻表掲示等を行うことで、利用者の増加を図る ・関係自治体のHPや広報誌の活用、公共施設への配布等により、バス利用に関する広報・周知を強化し、一層の利用促進を図る ・嘉島町において、本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る	熊本バス(株) 熊本市 嘉島町 甲佐町	352 千円	65.02%	52.89%	53.90%	1.01%	R8年10月 ～ R9年9月
11	11 熊本バス(株)	中病・イオン線	熊本市 嘉島町	・関係自治体と連携し、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の医療機関及び大型商業施設（イオンモール熊本）と連携し、施設内への時刻表掲示等を行うことで、利用者の増加を図る ・関係自治体のHPや広報誌の活用、公共施設への配布等により、バス利用に関する広報・周知を強化し、一層の利用促進を図る ・嘉島町において、本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る	熊本バス(株) 熊本市 嘉島町	291 千円	87.62%	84.64%	85.93%	1.29%	R8年10月 ～ R9年9月
12	12 熊本バス(株)	江津・イオン線	熊本市 嘉島町	・関係自治体と連携し、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の医療機関及び大型商業施設（イオンモール熊本）と連携し、施設内への時刻表掲示等を行うことで、利用者の増加を図る ・関係自治体のHPや広報誌の活用、公共施設への配布等により、バス利用に関する広報・周知を強化し、一層の利用促進を図る ・嘉島町において、本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る	熊本バス(株) 熊本市 嘉島町	475 千円	103.17%	98.82%	100.22%	1.40%	R8年10月 ～ R9年9月
13	13 熊本バス(株)	セイラ・イオン線	熊本市 嘉島町	・関係自治体と連携し、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の医療機関及び大型商業施設（イオンモール熊本）と連携し、施設内への時刻表掲示等を行うことで、利用者の増加を図る ・関係自治体のHPや広報誌の活用、公共施設への配布等により、バス利用に関する広報・周知を強化し、一層の利用促進を図る ・嘉島町において、本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る	熊本バス(株) 熊本市 嘉島町	421 千円	100.86%	88.85%	90.14%	1.29%	R8年10月 ～ R9年9月
14	14 熊本バス(株)	健軍電停・イオン線	熊本市 嘉島町	・関係自治体と連携し、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る ・沿線の医療機関及び大型商業施設（イオンモール熊本）と連携し、施設内への時刻表掲示等を行うことで、利用者の増加を図る ・関係自治体のHPや広報誌の活用、公共施設への配布等により、バス利用に関する広報・周知を強化し、一層の利用促進を図る ・嘉島町において、本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る	熊本バス(株) 熊本市 嘉島町	108 千円	47.78%	44.07%	45.08%	1.01%	R8年10月 ～ R9年9月

7.生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項

今後の人口減少が見込まれる中で、このまま赤字額が拡大していけば、国や地方公共団体やバス事業者の負担が一層増加し、系統の維持が困難となる懸念がある。路線バス事業の生産性向上を図り、持続可能な地域公共交通ネットワークを形成することを目的とする。
系統ごとの生産性向上の取組については、次のとおりである。

番号	事業者名	系統名	関係市町村	取組内容	実施主体	数値目標					実施時期
						増収額 (費用削減額)	【参考】 収支率 (R6)	収支率 (R7)	収支率 (R9)	収支 改善率	
15	15 熊本バス(株)	城南・志導寺線	熊本市 嘉島町	・関係自治体と連携し、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知することにより利用促進を図る。 ・沿線の医療機関及び大型商業施設（イオンモール熊本）と連携し、施設内への時刻表掲示等を行うことで、利用者の増加を図る。 ・関係自治体のHPや広報誌の活用、公共施設への配布等により、バス利用に関する広報・周知を強化し、一層の利用促進を図る。 ・嘉島町において、本系統内の乗合タクシーとの乗継拠点となる主要バス停について、広く周知を行い利用促進を図る	熊本バス(株) 熊本市 嘉島町	214 千円	96.32%	95.54%	96.94%	1.40%	R8年10月 ～ R9年9月
16	1 産交バス(株)	健軍・東無田 經由 熊本・御船線	熊本市 御船町 益城町	・大型商業施設（サクラマチクマモト）が実施する各種イベントと連携し、利用促進に向けた取組みを実施する。 ・沿線の学校へ定期券販売説明会（中学、高校入学時期）の開催や小中学生や高齢者等を対象とした乗り方教室を実施する事で、利用促進を図る。 ・バス利用に関する広報活動について自社HPまた、関係自治体と連携して広報誌等を活用する事でより一層の利用促進を図る。 ・沿線学校の入学者説明会などでバス通学に関する案内を行う。	産交バス(株) 熊本市 御船町 益城町	378 千円	40.32%	41.03%	42.03%	1.00%	R8年10月 ～ R9年9月
17	2 産交バス(株)	河内經由 熊本・小田線	熊本市 玉名市	・温泉利用客を対象に沿線観光施設と連携した案内掲示・情報発信を実施する。 ・週末・観光シーズンにおける利用促進を図る時刻表案内を行う。 ・関係自治体と連携し、地域住民に向けた乗り方教室や沿線施設への時刻表配布および利用案内の強化を実施する。 ・団体乗車の積極的な受注を行う。 ・平日昼間帯の利用状況を踏まえ、低需要便の見直しを実施する。 ・燃費実績の見える化を行い、エコドライブの徹底を推進する。	産交バス(株) 熊本市 玉名市	739 千円	49.97%	51.03%	52.03%	1.00%	R8年10月 ～ R9年9月
18	3 産交バス(株)	植木・大倉 經由 熊本・玉名線	熊本市 玉名市 玉東町	・沿線企業および学校へ訪問し、通勤・通学者の定期利用促進を実施する。 ・桜町BTでの乗継案内を行い、利用者の利便性向上を図る。 ・団体乗車の積極的な受注を行う。 ・地域住民の利用促進のため、関係自治体と連携して乗り方教室を実施する。 ・利用状況に応じたダイヤ調整を行い、遅延および待機時間の削減を図る。 ・燃費実績の見える化を行い、エコドライブの徹底を推進する。	産交バス(株) 熊本市 玉名市 玉東町	446 千円	44.29%	42.28%	43.28%	1.00%	R8年10月 ～ R9年9月
19	4 産交バス(株)	菊池經由 山鹿・大津線	山鹿市 菊池市 大津町	・関係自治体での「公共交通マップ」作成を依頼し、事業者と自治体で配布を行う。 ・菊池市内の経路やバス停名の見直しを自治体と検討し、利便性向上を図る。 ・学校などでの乗り方教室開催を積極的に開催を行う。 ・免許返納制度等のバス利用に関する広報活動について自社HP・関係自治体と連携して利用促進を図る。	産交バス(株) 山鹿市 菊池市 大津町	815 千円	29.96%	28.99%	29.99%	1.00%	R8年10月 ～ R9年9月
20	5 産交バス(株)	労働庁舎・鬼 池港經由 本渡・富岡線	天草市 苓北町	・快速バス・熊本空港からの直行便との乗り継ぎ時刻表を作成し、バス車内・船内・空港にて広報を行い、利用促進を図る。 ・インバウンド観光客を対象に、SNS・観光メディア等で多言語の情報発信を行う。 ・幼稚園・小学校・高齢者を対象にした乗り方教室を積極的に開催する。 ・免許返納者のバス利用について、自社HP・関係自治体と連携して広報活動を行う。	産交バス(株) 天草市 苓北町	829 千円	28.42%	25.53%	26.53%	1.00%	R8年10月 ～ R9年9月
21	6 産交バス(株)	一町田中央・ 久玉經由 本渡・牛深線	天草市	・快速バス・熊本空港からの直行便との乗り継ぎ時刻表を作成し、バス車内・空港にて広報を行い、利用促進を図る。 ・インバウンド観光客を対象に、SNS・観光メディア等で多言語の情報発信を行う。 ・幼稚園・小学校・高齢者を対象にした乗り方教室を積極的に開催する。 ・免許返納者のバス利用について、自社HP・関係自治体と連携して広報活動を行う。	産交バス(株) 天草市	1,527 千円	15.64%	14.48%	15.48%	1.00%	R8年10月 ～ R9年9月
22	7 産交バス(株)	桜山經由 玉名市役所・ 荒尾線	荒尾市 玉名市	・買物・通院利用を対象に、乗継案内や時刻表の表示内容を工夫するなど、昼間時間帯の利用利用促進を行う。 ・団体乗車の積極的な受注を行う。 ・関係自治体と連携し、地域住民に向けた乗り方教室を実施する。 ・燃費実績の見える化を行い、エコドライブの徹底を推進する。	産交バス(株) 荒尾市 玉名市	647 千円	31.38%	31.29%	32.29%	1.00%	R8年10月 ～ R9年9月
23	8 産交バス(株)	堅志田經由 松橋・砥用線	宇土市 宇城市 美里町	・沿線における観光地の写真や商業施設の行先MAPを作成し、「松橋駅」バス停での掲示や自社HP、自治体・民間の広報誌に掲載して、バスで移動可能なエリアを周知する。 ・地域イベントへの参加や沿線の保育園・幼稚園での乗り方教室を開催し、地域住民への利用促進を図る。 ・季節ごとに車内の飾りつけを行い、情報発信をすることで関心を高め、利用促進を図る。	産交バス(株) 宇土市 宇城市 美里町	635 千円	18.55%	18.38%	19.38%	1.00%	R8年10月 ～ R9年9月

7.生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項

今後の人口減少が見込まれる中で、このまま赤字額が拡大していけば、国や地方公共団体やバス事業者の負担が一層増加し、系統の維持が困難となる懸念がある。路線バス事業の生産性向上を図り、持続可能な地域公共交通ネットワークを形成することを目的とする。
系統ごとの生産性向上の取組については、次のとおりである。

番号	事業者名	系統名	関係市町村	取組内容	実施主体	数値目標					実施時期	
						増収額 (費用削減額)	【参考】 収支率 (R6)	収支率 (R7)	収支率 (R9)	収支 改善率		
24	9	産交バス(株)	日奈久經由 八代・田浦線	八代市 芦北町	・沿線における観光地の写真や商業施設の行先MAPを作成し、「八代駅」バス停での掲示や自社HP、自治体・民間の広報誌へ掲載して、バスで移動可能なエリアを周知する。 ・地域イベントへの参加や沿線の保育園・幼稚園での乗り方教室を開催し、地域住民への利用促進を図る。 ・季節ごとに車内の飾りつけを行い、情報発信をすることで関心を高め、利用促進を図る。	産交バス(株) 八代市 芦北町	584 千円	18.43%	18.31%	19.31%	1.00%	R8年10月 ～ R9年9月
25	10	産交バス(株)	道尻經由 阿蘇環状線	阿蘇市	・近隣のホテルや宿泊施設で観光客に向けて時刻表や案内等を配布を行う。 ・営業所待合所のデジタルサイネージで乗り方案内、観光情報の発信を行い、インバウンド観光客の利便性向上を図る。 また、時刻表や観光マップ等を掲示したり、紙で配布することで利用促進を図る。 ・地域内のインフォメーションセンターや観光案内所でバス利用に関する広報資料などを配布してもらうことで、イベント開催時などでのバス利用を促す。 ・バス利用に関する広報活動について自社HPまた、関係自治体、商業施設、観光地と連携して広報誌等を活用する事でより一層の利用促進を図る。	産交バス(株) 阿蘇市	481 千円	20.43%	18.52%	19.52%	1.00%	R8年10月 ～ R9年9月
26	11	産交バス(株)	テクノ団地 經由 熊本・高森線	熊本市 益城町 西原村 南阿蘇村 高森町	・小学生を対象とした乗り方教室を実施する事で、利用促進を図る。 ・バス利用に関する広報活動について自社HPまた、関係自治体と連携して広報誌等を活用する事でより一層の利用促進を図る。 ・沿線の施設へ時刻表掲示の依頼を行う。	産交バス(株) 熊本市 益城町 西原村 南阿蘇村 高森町	492 千円	63.68%	57.00%	58.00%	1.00%	R8年10月 ～ R9年9月
27	1	熊本電気鉄道(株)	377新地団地線 (合志市役所)	熊本市 菊陽町 合志市	・将来のバス利用者を地域とともに育てていく為に、関係自治体との連携や沿線の小学校からの要望等に応じて、乗り方教室の開催やバスロケーションシステム等について、利便性を広く周知し利用しやすい環境作りを進める。 ・沿線の戸建て住宅や集合団地等に共通定期券の案内等のポスティングを行い利用促進を図る。また共同経営推進室とも連携し沿線の大学、高校を対象に、時刻表や通学定期の案内を学内掲示するとともに、新入生をターゲットに通学定期の案内を配布し、利用促進を行う。 ・バス利用に関する広報・周知活動を関係自治体のHPや広報誌を活用し、一層の利用促進を図る。 ・沿線や熊本市中心部でのイベント情報等を自社で運用するLINE等を活用・発信する事により、公共交通利用の機運と自社自体へのイメージも高めたい。	熊本電気鉄道(株) 熊本市 菊陽町 合志市	735 千円	73.78%	71.05%	74.30%	3.25%	R8年10月 ～ R9年9月
28	1	西鉄バス大牟田(株)	西鉄大牟田営業所～大牟田市立病院・上町～庄山	荒尾市 (大牟田市)	・商業施設や関係自治体と連携し、利用促進に向けたイベントなどを行う。 ・春休みや夏休みなどの長期休暇および土曜・日祝日において、こども（小学生）50円バスを西鉄グループ全社で実施し、将来のバスユーザーの獲得と保護者同伴による利用者増加を図る。 ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る。 ・SNS、ホームページを活用し、沿線の催し情報を発信し、バス利用の促進を図る。 ・2025年4月1日に大牟田駅と大牟田駅待合所にて運用開始したスマートバス停で、バスの運行状況案内や観光施設等のPRを行い、バスの利便性向上及び利用促進を図る。 上記の内容を検討・実施し毎年1%、R7年度からR9年度にかけ2%の収支改善を図ることを目標とする。	西鉄バス大牟田(株) 大牟田市 荒尾市	373 千円	26.07%	24.46%	26.46%	2.00%	R8年10月 ～ R9年9月
29	2	西鉄バス大牟田(株)	西鉄大牟田営業所～延命公園動物園前・大牟田市立病院・新大牟田駅～南関町役場	南関町 (大牟田市)	・春休みや夏休みなどの長期休暇および土日祝日において、こども（小学生）50円バスを西鉄グループ全社で実施し、将来のバスユーザーの獲得と保護者同伴による利用者増加を図る。 ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る。 ・SNS、ホームページを活用し、沿線の催し情報を発信し、バス利用の促進を図る。 ・2025年4月1日に大牟田駅と大牟田駅待合所、新大牟田駅待合所にて運用開始したスマートバス停で、バスの運行状況案内や観光施設等のPRを行い、バスの利便性向上及び利用促進を図る。 上記の内容を検討・実施し毎年1%、R7年度からR9年度にかけ2%の収支改善を図ることを目標とする。	西鉄バス大牟田(株) 大牟田市 南関町	1,227 千円	36.06%	39.11%	41.11%	2.00%	R8年10月 ～ R9年9月

7.生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項

今後の人口減少が見込まれる中で、このまま赤字額が拡大していけば、国や地方公共団体やバス事業者の負担が一層増加し、系統の維持が困難となる懸念がある。路線バス事業の生産性向上を図り、持続可能な地域公共交通ネットワークを形成することを目的とする。
系統ごとの生産性向上の取組については、次のとおりである。

番号		事業者名	系統名	関係市町村	取組内容	実施主体	数値目標					実施時期
							増収額 (費用削減額)	【参考】 収支率 (R6)	収支率 (R7)	収支率 (R9)	収支 改善率	
30	3	西鉄バス大牟田(株)	荒尾駅～右京町～大牟田駅～久福木団地	荒尾市(大牟田市)	・商業施設や関係自治体と連携し、利用促進に向けたイベントなどを行う。 ・春休みや夏休みなどの長期休暇および土日祝日において、こども（小学生）50円バスを西鉄グループ全社で実施し、将来のバスユーザーの獲得と保護者同伴による利用者増加を図る。 ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る。 ・SNS、ホームページを活用し、沿線の催し情報を発信し、バス利用の促進を図る。 ・2025年4月1日に大牟田駅と大牟田駅待合所にて運用開始したスマートバス停で、バスの運行状況案内や観光施設等のPRを行い、バスの利便性向上及び利用促進を図る。 上記の内容を検討・実施し毎年1%、R7年度からR9年度にかけ2%の収支改善を図ることを目標とする。	西鉄バス大牟田(株)大牟田市荒尾市	564 千円	64.48%	68.46%	70.46%	2.00%	R8年10月～R9年9月
31	4	西鉄バス大牟田(株)	荒尾駅～天領橋～大牟田駅～高泉団地～三池中町	荒尾市(大牟田市)	・商業施設や関係自治体と連携し、利用促進に向けたイベントなどを行う。 ・春休みや夏休みなどの長期休暇および土日祝日において、こども（小学生）50円バスを西鉄グループ全社で実施し、将来のバスユーザーの獲得と保護者同伴による利用者増加を図る。 ・バス利用に関する広報・周知活動について、関係自治体のHP、広報誌の活用及び公共施設への配布等により、一層の利用促進を図る。 ・SNS、ホームページを活用し、沿線の催し情報を発信し、バス利用の促進を図る。 ・2025年4月1日に大牟田駅と大牟田駅待合所にて運用開始したスマートバス停を活用し、観光施設等のPRを行い、バスの利用促進を図る。 上記の内容を検討・実施し毎年1%、R7年度からR9年度にかけ2%の収支改善を図ることを目標とする。	西鉄バス大牟田(株)大牟田市荒尾市	533 千円	68.88%	72.50%	74.50%	2.00%	R8年10月～R9年9月
32	1	南国交通(株)	水俣線（佐潟口・水俣車庫線）	水俣市(出水市)(阿久根市)	・現行ダイヤを維持しつつ、鹿児島県側のルートについて、一部変更を行い利便性向上を図る ・九州MaaSを活用して現在作成している企画乗車券をPRしつつ利用者確保に努める ・タッチ決済未設置車両に、機器の導入を行い利便性向上を図る	南国交通(株)水俣市	850 千円	47.09%	42.25%	43.25%	1.00%	R8年10月～R9年9月

8. 外客来訪促進計画との整合性

本計画と外国人観光旅客の来訪の促進等による国際観光の振興に関する法律第5条に基づく「外客来訪促進計画」で定める「外国人観光旅客の円滑かつ快適な旅行のための環境の整備方針」との整合をとることで、地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統と国際観光の振興との連携を図ることを目的とする。

番号	事業者名	系統名	整備方針	整合をとるための取組み
1 1	熊本バス(株)	直行線	—	
2 2	熊本バス(株)	砥用線	—	
3 3	熊本バス(株)	辺場・甲佐線	—	
4 4	熊本バス(株)	御船・甲佐線	—	
5 5	熊本バス(株)	健軍線	—	
6 6	熊本バス(株)	健軍・イオン線	—	
7 7	熊本バス(株)	宇土線	—	
8 8	熊本バス(株)	松橋線	—	
9 9	熊本バス(株)	画図線	—	
10 10	熊本バス(株)	乙女線	—	
11 11	熊本バス(株)	中病・イオン線	—	
12 12	熊本バス(株)	江津・イオン線	—	
13 13	熊本バス(株)	セイラ・イオン線	—	
14 14	熊本バス(株)	健軍電停・イオン線	—	
15 15	熊本バス(株)	城南・志導寺線	—	
16 1	産交バス(株)	健軍・東無田經由 熊本・御船線	—	
17 2	産交バス(株)	河内經由 熊本・小天線	—	
18 3	産交バス(株)	植木・大倉經由 熊本・玉名線	—	
19 4	産交バス(株)	菊池經由 山鹿・大津線	—	
20 5	産交バス(株)	労働庁舎・鬼池港經由 本渡・富岡線	—	
21 6	産交バス(株)	一町田中央・久玉經由 本渡・牛深線	—	
22 7	産交バス(株)	桜山經由 玉名市役所・荒尾線	—	
23 8	産交バス(株)	堅志田經由 松橋・砥用線	—	

番号	事業者名	系統名	整備方針	整合をとるための取組み
24 9	産交バス(株)	日奈久経由 八代・田浦線	—	
25 10	産交バス(株)	道尻経由 阿蘇環状線	—	
26 11	産交バス(株)	テクノ団地経由 熊本・高森線	—	
27 1	熊本電気鉄道(株)	377新地団地線 (合志市役所)	—	
28 1	西鉄バス大牟田(株)	西鉄大牟田営業所～大牟田市立病院・上町 ～庄山	—	
29 2	西鉄バス大牟田(株)	西鉄大牟田営業所～延命公園動物園前・大 牟田市立病院・新大牟田駅～南関町役場		
30 3	西鉄バス大牟田(株)	荒尾駅～右京町～ 大牟田駅～久福木団地	—	
31 4	西鉄バス大牟田(株)	荒尾駅～天領橋～大牟田駅～高泉団地～三 池中町	—	
32 1	南国交通(株)	水俣線 (佐潟口・水俣車庫線)	—	

9. 車両の取得に係る目的・必要性

番号	取得 年度	事業者名	運行系統名	目的・必要性
1 1	R4	産交バス(株)	菊池經由山鹿・大津線	当該系統を運行する車両は、車齢20年を超える車両もあり、安全性や移動円滑化の観点及び、修繕費の抑制を図るため、計画的な新車（ノンステップバス車両）への更新が必要となっている。
2 2	R4	産交バス(株)	菊池經由山鹿・大津線	当該系統を運行する車両は、車齢20年を超える車両もあり、安全性や移動円滑化の観点及び、修繕費の抑制を図るため、計画的な新車（ノンステップバス車両）への更新が必要となっている。
3 3	R8	産交バス(株)	河内經由熊本・小田線 植木・大倉經由熊本・玉名線 桜山經由玉名市役所・荒尾線	当該系統を運行する車両は、車齢20年を超える車両もあり、安全性や移動円滑化の観点及び、修繕費の抑制を図るため、計画的な新車（ノンステップバス車両）への更新が必要となっている。
4 4	R8	産交バス(株)	河内經由熊本・小田線 植木・大倉經由熊本・玉名線 桜山經由玉名市役所・荒尾線	当該系統を運行する車両は、車齢20年を超える車両もあり、安全性や移動円滑化の観点及び、修繕費の抑制を図るため、計画的な新車（ノンステップバス車両）への更新が必要となっている。
5 5	R9	産交バス(株)	日奈久經由八代・田浦線	当該系統を運行する車両は、車齢20年を超える車両もあり、安全性や移動円滑化の観点及び、修繕費の抑制を図るため、計画的な新車（ノンステップバス車両）への更新が必要となっている。
6 1	R5	熊本電気鉄道(株)	377新地団地線（合志市役所）	当該系統を運行する車両の中には、車齢20年を超えるものもあり、安全性や移動の円滑化の観点から、計画的なノンステップバス車両への更新が必要となっている。
7 2	R6	熊本電気鉄道(株)	377新地団地線（合志市役所）	当該系統を運行する車両の中には、車齢20年を超えるものもあり、安全性や移動の円滑化の観点から、計画的なノンステップバス車両への更新が必要となっている。

10. 車両の取得に係る定量的な目標・効果

新規車両の取得により、利便性の向上及び移動の円滑化を図り、運行系統の現状の輸送量を維持することを、本計画における定量的な目標とする。

取得車両及び車両が運行する系統ごとの目標及び効果については、次のとおりである。

番号	取得 年度	事業者名	運行系統名	1日当たり輸送量		効 果	
				R6年度 実績	R8年度 目標値		
1	1	R4	産交バス(株)	菊池經由山鹿・大津線	25.2 人	25.2 人	R7年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。
2	2	R4	産交バス(株)	菊池經由山鹿・大津線	25.2 人	25.2 人	R7年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。
3	3	R8	産交バス(株)	河内經由 熊本・小田線	49.4 人	49.4 人	R7年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。
				植木・大倉經由熊本・玉名線	20.1 人	20.1 人	R7年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。
				桜山經由玉名市役所・荒尾線	28.5 人	28.5 人	R7年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。
4	4	R8	産交バス(株)	河内經由 熊本・小田線	49.4 人	49.4 人	R7年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。
				植木・大倉經由熊本・玉名線	20.1 人	20.1 人	R7年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。
				桜山經由玉名市役所・荒尾線	28.5 人	28.5 人	R7年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。
5	5	R9	産交バス(株)	日奈久經由八代・田浦線	20.5 人	20.5 人	R7年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。
6	1	R5	熊本電気鉄道(株)	377新地団地線 (合志市役所)	26.0 人	26.0 人	R6年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。
7	2	R6	熊本電気鉄道(株)	377新地団地線 (合志市役所)	26.0 人	26.0 人	R6年度の実績をベースに算出した輸送量を維持し、路線の維持を図る。

1 1. （表5） 車両の取得計画の概要

令和9年度

都道府県 (市区町村)	バス事業者等名	補助対象車両数	車両減価償却費等に要する 国庫補助額(千円)
熊本県	産交バス(株)	初年度 車両減価償却 1	初年度 車両減価償却 1,500
		初年度 車両購入金融費用 1	初年度 車両購入金融費用 138
		2年目以降 車両減価償却 4	2年目以降 車両減価償却 4,500
		2年目以降 車両購入金融費用 4	2年目以降 車両購入金融費用 232
		車両数 計 5	計画額 計 6,370
熊本県	熊本電気鉄道(株)	初年度 車両減価償却 0	初年度 車両減価償却 0
		初年度 車両購入金融費用 0	初年度 車両購入金融費用 0
		2年目以降 車両減価償却 2	2年目以降 車両減価償却 1,449
		2年目以降 車両購入金融費用 2	2年目以降 車両購入金融費用 90
		車両数 計 2	計画額 計 1,539
合 計		7	7,909

12. (表6) 車両の取得を行う事業者

事業者名	産交バス株式会社
------	----------

1. 車両取得の概要

初年度(令和 9 年度)

補助ブロック名	申請番号	確保維持路線名称又は区間	確保維持費国庫補助金申請番号	車両の種別			乗車定員(人)	車両の長さ(m)	購入等予定年月	購入等の種別 (現金、割賦、リース)
南九州	5	日奈久經由八代・田浦線	9	超低床	スロープ付き	標準仕様	57	9.0	R8.10	リース

【購入車両減価償却費】

○事業者の減価償却方法(定率法or定額法)

定額法

申請番号	実費購入予定費(円)*消費税を除く				実費購入予定費合計額から備忘価格を控除した額(円)	木と限度額のうちの少ない方の額(円)	普通償却限度額(円) (定率法) ^×(0.5or0.4)=ト (定額法)^×0.2=ト	特別償却額(円)	償却限度額(円)	事業者償却額(円)	スとルのうち少ない方の額(円)	償却期間(月)	補助対象経費 ヲ×ワ÷12(月)=カ	計画額(千円) カ×1/2=ヨ	*残存価格(円) ヘーカ=タ
	車両価格 イ	附属品価格 ロ	改造費 ハ	合計 イ+ロ+ハ=ニ											
5	16,356,000	1,891,070	0	18,247,070	18,247,069	15,000,000	3,000,000	0	3,000,000	3,233,656	3,000,000	12	3,000,000 円	1,500.0	12,000,000

【車両購入金融費用】

○事業者の返済方法(元利均等or元金均等)

元利均等

申請番号	金融費用補助対象額(円) への額以内	償還期間(月)	借入利率(%) 年利 レ	レと2.5%のうち低い方の率(%) ソ	補助対象経費 ツ	計画額(千円) ツ×1/2=ネ
5	15,000,000	12	2.15%	2.15%	276,862 円	138.4
計	15,000,000				276 千円	138

【所要経費】

補助対象経費(千円) カ+ツ	計画額(千円) ヨ+ネ
3,276	1,638

【負担者とその負担割合】

補助ブ ロック 名	申請 番号	負担者とその負担割合										「その他の者」の 具体的概要
		都道府県		市区町村		その他の者		事業者自己負担				
		負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	
南九州	5	819,000	円 25.0 %	0	円 0.0 %	0	円 0.0 %	776,256	円 23.7 %			
合計		819,000	円 25.0 %	0	円 0.0 %	0	円 0.0 %	776,256	円 23.7 %			

2年目以降(令和 9 年度)

補助ブロック名	申請番号	確保維持路線名称又は区間	確保維持費国庫補助金申請番号	
			当該年度	初年度
南九州	1	菊池経由山鹿・大津線	4	4
南九州	2	菊池経由山鹿・大津線	4	4
南九州	3	河内経由熊本・小田線 植木・大倉経由熊本・玉名線 桜山経由玉名市役所・荒尾線	2・3・7	2・3・7
南九州	4	河内経由熊本・小田線 植木・大倉経由熊本・玉名線 桜山経由玉名市役所・荒尾線	2・3・7	2・3・7

【購入車両減価償却費】

○事業者の減価償却方法(定率法or定額法)※法令で認められた場合を除き、年度間での変更不可

定額法

申請番号	補助対象限度額 (円)	残存価額(円)	普通償却限度額 (円)	特別償却額(円)	償却限度額(円)	事業者償却額 (円)	ノとオのうち少ない方 の額(円)	償却期間(月)	補助対象経費 $ク \times ヤ \div 12(月) = マ$ (最終年度) $ク = マ$	計画額(千円)	* 残存価格 (円)
	初年度への額 = ナ	前年度7(2年目のみ タ)の額 = ラ	(定率法) $ラ \times (0.5 \text{ or } 0.4) = ム$ (定額法) $ナ \times 0.2 = ム$								
1	15,000,000	1,500,000	1,500,000	0	1,500,000	3,233,656	1,500,000	6	1,500,000 円	750.0	0
2	15,000,000	1,500,000	1,500,000	0	1,500,000	3,233,656	1,500,000	6	1,500,000 円	750.0	0
3	15,000,000	12,500,000	3,000,000	0	3,000,000	3,233,656	3,000,000	12	3,000,000 円	1,500.0	9,500,000
4	15,000,000	12,500,000	3,000,000	0	3,000,000	3,233,656	3,000,000	12	3,000,000 円	1,500.0	9,500,000
計	60,000,000	28,000,000	9,000,000	0	9,000,000	12,934,624	9,000,000		9,000 千円	4,500	19,000,000

【車両購入金融費用】

○事業者の返済方法(元利均等or元金均等)

元利均等

申請番号	金融費用補助対 象額(円)	償還期間 (月)	今年度償還回数		借入利率(%) 年利	エと2.5%のうち 低い方の率(%)	補助対象経費	計画額(千円)
			(自)	(至)				
1	15,000,000	12	55	60	0.85%	0.85%	6,049 円	3.0
2	15,000,000	12	55	60	0.85%	0.85%	6,049 円	3.0
3	15,000,000	12	11	22	2.15%	2.15%	226,305 円	113.1
4	15,000,000	12	11	22	2.15%	2.15%	226,305 円	113.1
計	60,000,000						464 千円	232

【所要経費】

補助対象経費(千円)	計画額(千円)
マ+ア	ケ+サ
9,464	4,732

【負担者とその負担割合】

補助ブ ロック 名	申請 番号	負担者とその負担割合										「その他の者」の 具体的概要
		都道府県		市区町村		その他の者		事業者自己負担				
		負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	
南九州	1	753,000 円	8.0 %	0 円	0.0 %	0 円	0.0 %	1,727,656 円	18.3 %			
	2	753,000 円	8.0 %	0 円	0.0 %	0 円	0.0 %	1,727,656 円	18.3 %			
	3	1,613,100 円	17.0 %	0 円	0.0 %	0 円	0.0 %	7,456 円	0.1 %			
	4	1,613,100 円	17.0 %	0 円	0.0 %	0 円	0.0 %	7,456 円	0.1 %			
合計		4,732,200 円	50.0 %	0 円	0.0 %	0 円	0.0 %	3,470,224 円	36.7 %			

12.（表6）車両の取得を行う事業者

事業者名	熊本電気鉄道株式会社
------	------------

1. 車両取得の概要

2年目以降(令和 9 年度)

補助ブロック名	申請番号	確保維持路線名称又は区間	確保維持費国庫補助金申請番号	
			当該年度	初年度
南九州	1	新地団地線	1	5
南九州	2	新地団地線	1	6

【購入車両減価償却費】

○事業者の減価償却方法(定率法or定額法)※法令で認められた場合を除き、年度間での変更不可

定率法

申請番号	補助対象限度額 (円) 初年度への額＝ナ	残存価額(円) 前年度フ(2年目のみ タ)の額＝ラ	普通償却限度額 (円) (定率法) ラ×(0.5or0.4)＝ム (定額法)ナ×0.2＝ム	特別償却額(円) ウ	償却限度額(円) ム＋ウ＝ノ	事業者償却額 (円) オ	ノとオのうち少 ない方の額(円) ク	償却期間(月) ヤ	補助対象経費 ク×ヤ÷12(月)＝マ (最終年度)ク＝マ	計画額(千円) マ×1/2＝ケ	* 残存価格 (円) ラ－マ＝フ
1	15,000,000	2,484,000	1,242,000	0	1,242,000	1,546,776	1,242,000	12	1,242,000 円	621.0	1,242,000
2	15,000,000	4,140,000	1,656,000	0	1,656,000	2,203,200	1,656,000	12	1,656,000 円	828.0	2,484,000
計	30,000,000	6,624,000	2,898,000	0	2,898,000	3,749,976	2,898,000		2,898 千円	1,449	3,726,000

【車両購入金融費用】

○事業者の返済方法(元利均等or元金均等)

元利均等

申請番号	金融費用補助対 象額(円) ナの額以内＝コ	償還期間 (月)	今年度償還回数		借入利率(%) 年利 エ	エと2.5%のうち 低い方の率(%) テ	補助対象経費 ア	計画額(千円) ア×1/2＝サ
			(自)	(至)				
1	15,000,000	12	32	43	2.00%	2.00%	59,686 円	29.8
2	15,000,000	12	20	31	2.00%	2.00%	121,027 円	60.5
計	30,000,000						180 千円	90

【所要経費】

補助対象経費(千円) マ＋ア	計画額(千円) ケ＋サ
3,078	1,539

【負担者とその負担割合】

補助 ブ ロ ッ ク 名	申請 番 号	負担者とその負担割合									
		都道府県		市区町村		その他の者		事業者自己負担		「その他の者」の 具体的概要	
		負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合		
南九州	1	650.8 円	0.05 %	円	0 %	円	0 %	円	0 %		
	2	888.5 円	0.05 %	円	0 %	円	0 %	円	0 %		
合計		1539.3 円	0.05 %	0 円	%	0 円	%	0 円	%		

13. 協議会の開催状況と主な議論

地域ブロック名	日時	該当地域ブロック	市町村	主な議論
地域ブロック 合同部会	令和8年6月10日	熊本	熊本市	原案のとおり承認
		宇城	宇城市、宇土市、美里町	
		玉名	玉名市、荒尾市、玉東町、和水町、南関町、長洲町	
		鹿本	山鹿市	
		菊池	菊池市、合志市、大津町、菊陽町	
		阿蘇	阿蘇市、南小国町、小国町、産山村、高森町、南阿蘇村、西原村	
		上益城	山都町、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町	
		八代	八代市、氷川町	
		水俣・芦北	水俣市、芦北町、津奈木町	
		球磨	人吉市、錦町、あさぎり町、多良木町、湯前町、水上村、相良村、五木村、山江村、球磨村	
		天草	天草市、上天草市、苓北町	

14. 協議会メンバーの構成（熊本県地域公共交通協議会）

国・市町村	1	九州運輸局	
	2	九州運輸局熊本運輸支局	
	3	熊本地域ブロック部会（熊本市）	部会長代理
	4	宇城地域ブロック部会（宇城市）	部会長代理
	5	玉名地域ブロック部会（玉名市）	部会長代理
	6	鹿本地域ブロック部会（山鹿市）	部会長代理
	7	菊池地域ブロック部会（菊池市）	部会長代理
	8	阿蘇地域ブロック部会（阿蘇市）	部会長代理
	9	上益城地域ブロック部会（山都町）	部会長代理
	10	八代地域ブロック部会（八代市）	部会長代理
	11	水俣・芦北地域ブロック部会（水俣市）	部会長代理
	12	球磨地域ブロック部会（人吉市）	部会長代理
	13	天草地域ブロック部会（天草市）	部会長代理
関係公共交通事業者等	14	九州旅客鉄道株式会社熊本支社	
	15	肥薩おれんじ鉄道株式会社	
	16	くま川鉄道株式会社	
	17	南阿蘇鉄道株式会社	
	18	熊本電気鉄道株式会社（鉄道事業部）	
	19	熊本市交通局	
	20	九州産交バス株式会社	
	21	産交バス株式会社	
	22	熊本電気鉄道株式会社（自動車事業本部）	
	23	熊本バス株式会社	
	24	熊本都市バス株式会社（共同経営推進室）	
	25	熊本都市バス株式会社	
	26	一般社団法人熊本県バス協会	
	27	一般社団法人熊本県タクシー協会	
関係道路管理者	28	熊本河川国道事務所	
	29	熊本県土木部道路都市局道路保全課	
関係公安委員会	30	熊本県警察本部交通部交通規制課	
地域公共交通の利用者	31	公益社団法人熊本県シニアクラブ連合会	
	32	熊本県PTA連合会	
学識経験者	33	国立大学法人大分大学経済学部門	副会長
その他の作成主体が必要と認める者	34	公益社団法人熊本県観光連盟	
	35	社会福祉法人熊本県身体障害者福祉団体連合会	
熊本県	36	企画振興部交通政策・統計局	会 長